

消 防 年 報

平成 2 3 年版



熊 谷 市 消 防 本 部

平成 2 4 年刊行

は　じ　め　に

この消防年報は、平成23年中の消防業務及び平成24年4月1日現在の消防現勢について収録し、今後の消防行政の運営に資するとともに、当消防本部の消防現況を広く御理解いただくために編集したものです。

平成24年8月

熊谷市消防本部

熊 谷 市

市 章



熊谷の名を円形に図案化したもので、上部右が「ク」を、同左が「マ」を、全体で「谷」を表しています。

大正8年に、熊谷町の紋章として、一般に懸賞募集し、同11年7月から使用されたものです。

昭和8年4月1日の市制施行後、市の紋章として引き継がれ、平成17年10月1日の合併による新熊谷市においても引き継がれました。

シンボルマーク



熊谷市（「くま」の2文字）が限りない未来に向かって大きく飛躍している様子をデザイン化しています。

市の花 : さくら

市の木 : ケヤキ

市の鳥 : ヒバリ

目 次

◎ 熊谷市消防本部の沿革	1
◎ 組織及び予算	
歴代消防長	1 4
消防組織表	1 5
消防配置図	1 6
消防通信系統図	1 7
消防本部事務分掌	1 8
消防署、分署事務分掌	2 0
現有人員・消防職員年齢状況	2 1
消防職員勤続年数状況・常備消防管内情勢	2 2
消防職員研修状況	2 3
消防吏員特殊技能その他資格取得者数	2 4
平成 2 4 年度消防予算	2 6
消防音楽隊	2 7
◎ 消防施設及び機械	
消防本部、消防署、分署庁舎一覧表	2 8
消防ポンプ自動車等性能一覧表	2 9
救助工作車積載器材保有状況	3 3
通信施設	3 4
1 1 9 番通報受信状況・災害等自動案内装置利用状況	3 5
◎ 消防水利	
消防水利状況	3 6
署別消防水利状況	3 9
◎ 火災予防	
防火対象物数	4 0
消防同意件数	4 1
危険物製造所等施設数	4 2
指定数量の倍数別危険物製造所等施設数	4 3
防火対象物別消防訓練実施状況	4 4

◎ 火災

火災の発生状況	4 5
月別火災発生状況	4 6
署別火災発生状況	4 7
分団別火災発生状況	4 8
月別、時刻別火災発生件数	4 9
損害額及び焼損面積区分による火災件数	5 0
出火原因別火災発生件数	5 1
曜日別火災発生状況・時間別火災発生状況	5 2
火災発生覚知別状況・主なる火災・死者を伴った火災	5 3

◎ 救急、救助

事故種別出動状況等	5 4
事故種別署別出動状況	5 5
事故種別時刻別搬送人員	5 6
事故種別傷病程度別搬送人員	5 7
救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況	5 8
事故種別出動件数・程度別搬送人員	5 9
一日平均救急出動件数の年別比較・年齢区分別搬送人員	6 0
救急隊員の行った応急処置件数	6 1
救急事故覚知別状況・医療資器材の使用状況	6 2
救助統計	6 3
月別救助出動件数	6 4
事故種別発生場所別活動件数・事故種別出動車両等台数	6 5

◎ 消防団

消防団組織表	6 6
消防団車庫一覧表	6 7
消防ポンプ自動車等性能一覧表	6 9
勤続年数状況・年齢状況	7 1

熊谷市消防本部の沿革

昭和23年	3月	消防組織法の施行により熊谷市消防本部、消防署を設置 熊谷市長 鴨田宗一氏、消防長に就任
昭和30年	3月	消防本部庁舎を宮町2丁目137番地(現在の中央消防署)に 竣工
昭和31年	3月	消防長に青木勝之助氏就任 玉井分所(現在の玉井分署)を開所
昭和33年	5月	熊谷市長に栗原正一氏就任
昭和36年	8月	南分所(現在の荒川分署)を開所
昭和37年	5月	熊谷市長に黒田海之助氏就任
昭和42年	12月	妻沼町消防本部、消防署を設置
昭和43年	3月	消防長に神尾貞治氏就任
昭和47年	4月	熊谷市、妻沼町、大里村、江南村の1市1町2村により 熊谷地区消防組合を設立発足し、管理者に熊谷市長 黒田海之助氏就任 署所 1本部 1署 1分署 2出張所 車両 普通消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車 5台、屈折はしご車1台、救急車3台、指令車1台、 広報車1台、作業車1台、救助艇1艇 職員 113名(定員151名) 消防長に吉野利男氏就任
昭和47年	6月	職員を126名に増員
昭和47年	11月	妻沼分署を妻沼消防署に昇格
昭和47年	12月	消防本部に火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周 知させるため、無線付指令車を配置
昭和48年	1月	職員を130名に増員 大里消防団北分団車庫竣工、同団北分団に消防車を配置
昭和48年	2月	南部地域の消防体制完備のため、大里出張所、江南出張 所を開所、両出張所に水槽付消防ポンプ自動車1台配置、 職員各15名

昭和48年	3月	妻沼消防団男沼分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団大幡分団車庫竣工 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和48年	4月	職員を133名に増員
昭和48年	5月	職員を138名に増員
昭和48年	8月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用としてパトロール車(軽四輪)2台を消防本部に配置
昭和48年	12月	熊谷消防団石原分団車庫竣工
昭和49年	3月	職員を150名に増員 熊谷消防団久下分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新 科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため化学車を熊谷消防署に配置 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和49年	5月	消防本部、消防署の組織改革を行い、責任体制を明確化し、本部に総務課3係、予防課2係、消防署に副署長を置き、警防係制に改革
昭和49年	11月	大型地震防災計画の一環として小型動力ポンプ5台を購入し各署所に配置(熊谷署、荒川、玉井、大里、江南出張所) 熊谷消防団成田分団及び江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和49年	12月	高層建築物災害に対処するため35m級はしご付消防車を熊谷消防署に配置 増加する救急業務の万全を期するため、救急車(3B型)を熊谷消防署に配置 職員定数を166名に改正
昭和50年	2月	江南消防団南分団車庫竣工
昭和50年	3月	熊谷消防団成田分団車庫竣工
昭和50年	4月	消防長吉野利男氏 埼玉県消防長会会長に就任
昭和50年	6月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用としてパトロール車(軽四輪)2台を消防本部に配置

昭和50年10月	妻沼消防署に救急車(2B型)を配置
昭和50年11月	熊谷消防署に救急車(2B型)を配置 (埼玉県農業共済連寄贈)
	妻沼消防団妻沼分団第1部車庫竣工
昭和50年12月	火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知させるため、無線付指令車を妻沼消防署に配置
昭和51年 1月	熊谷消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置
昭和51年 3月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新 交通事故、労働災害、中高層建築物等に伴う複雑多様化による各種災害に万全を期するため、消防ポンプ付救助工作車を熊谷消防署に配置
昭和51年 7月	職員を151名に増員
昭和51年 9月	火災問合せ専門着信電話装置(3回線)を熊谷消防署に設置
昭和51年10月	消防本部に防災無線電話を設置
昭和52年 2月	大里消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和52年 3月	熊谷消防団別府分団車庫竣工 建築物の中高層化によるビル火災や爆発事故等複雑多様化による災害からの人命救助等に対処するため、庁舎予定地に訓練棟(3棟)を設置
昭和52年 5月	火災問合せ専門着信電話装置(2回線)増設
昭和52年 8月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用としてパトロール車(軽四輪)2台を熊谷消防署に配置
昭和52年12月	大型地震防災計画の一環として小型動力ポンプを妻沼消防署に配置
昭和53年 2月	消防本部に広報車(普通車)を配置 妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和53年 3月	熊谷消防団星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和53年 4月	職員を153名に増員
昭和53年 7月	熊谷消防団上石分団車庫竣工

昭和54年	1月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和54年	2月	熊谷消防署玉井出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
昭和54年	5月	火災問合せ専門着信電話装置(5回線)を増設
昭和54年	8月	熊谷消防団三尻分団車庫竣工
昭和54年	10月	熊谷消防団筑波分団車庫竣工
昭和54年	12月	市街地特有の密集建物火災に対処するために、動く貯水槽として、また、大震災時における住民への飲料給水車として小型動力ポンプ付水槽車(7,300ℓ)を熊谷消防署に配置
昭和55年	1月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和55年	3月	熊谷消防団大幡分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団太井分団車庫竣工 妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新 庁舎予定地に高圧ガス容器貯蔵庫を設置
昭和55年	5月	職員を159名に増員
昭和55年	7月	消防本部に作業車(車両修理用工具一式積載)を配置
昭和55年	8月	熊谷消防団団本部分団にワゴン型普通車を配置
昭和55年	10月	新庁舎建設設計業務を熊谷市建築課に委託
昭和56年	1月	熊谷消防団各分団に消火及び人命救助活動に使用するため、空気呼吸器8型を配置
昭和56年	2月	熊谷消防署の救急車(3B型)を更新
昭和56年	3月	庁舎建設予定地に書類倉庫2棟を建設 熊谷消防団大麻生分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和57年	3月	熊谷消防署荒川出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団奈良分団車庫竣工
昭和57年	4月	職員を164名に増員
昭和57年	5月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長増田敏男氏就任
昭和57年	6月	熊谷地区消防本部消防長に門倉恒一氏就任
昭和57年	8月	熊谷地区消防組合庁舎建設着工

昭和57年11月	江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和57年12月	職員定数を188名に改正
昭和58年2月	熊谷消防署に救急車(2B型)を配置
昭和58年3月	熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和58年4月	職員を172名に増員
昭和58年6月	熊谷地区消防組合庁舎竣工
昭和58年8月	熊谷地区消防組合新庁舎業務開始
	消防本部、消防署の組織改革を行い、本部に総務課2係、 予防課2係、警防課3係を置き、旧本部庁舎を熊谷消防 署中央分署として開署
昭和58年9月	消防救急指令装置B型を通信指令室に配置
	119番回線容量48回線、実装8回線
	指令回線 容量48回線、実装6回線
	無線設備 基地局4 市町村波 150.31MHZ
	県内波 148.29MHZ
	全国波 150.73MHZ
	救急(復信)波 147.50MHZ
	143.50MHZ
	総合表示盤 ワンタッチ回路 100か所
	電子式交換機 局線容量 24回線、実装7回線
	内線容量 96回線、実装43回線
	地図検索装置を通信指令室に配置
	熊谷消防署及び大里出張所に救助用ボートを配置
昭和58年11月	妻沼消防団長井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和59年2月	熊谷消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和59年3月	熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を配置
	熊谷消防団中条分団車庫及び佐谷田分団車庫竣工
昭和59年4月	職員を177名に増員
昭和59年6月	江南出張所に救助用ボートを配置
昭和59年7月	荒川出張所に折たたみ式アルミボート(船外機付)配置
	熊谷消防署の査察車(軽四輪)2台を更新
昭和59年10月	熊谷消防署に広報装置付四輪駆動車を配置(ホテルサン

		ルート熊谷寄贈)
		熊谷消防署に普通消防ポンプ自動車を配置
		江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		熊谷消防署にボートトレーラーを配置
昭和60年	3月	熊谷消防団荒川分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		熊谷消防署の救急車(2B型)を更新
		妻沼消防団妻沼分団第1部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		熊谷消防団肥塚分団車庫竣工
昭和60年	4月	熊谷地区消防本部消防長に中村和夫氏就任
昭和60年	5月	熊谷消防署に広報装置付普通車を配置(株式会社八木橋寄贈)
昭和60年	7月	熊谷消防署大里出張所及び江南出張所に査察車(軽四輪)を配置
昭和60年	11月	組合構成市町村の江南村、町制を施行
昭和60年	12月	熊谷消防署にドクターズカーを配置(日本赤十字社埼玉県支部 無償譲渡)
昭和61年	3月	熊谷消防署中央分署の救急車(2B型)を更新
		熊谷消防署大里出張所及び江南出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
		妻沼消防団男沼分団第1部及び秦分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		江南消防団北分団車庫竣工
昭和61年	7月	職員を178名に増員
昭和61年	8月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長小林一夫氏就任
昭和61年	10月	熊谷消防団上石分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和62年	4月	職員を179名に増員
昭和62年	8月	熊谷消防署玉井出張所及び荒川出張所の査察車(軽四輪)を更新
昭和62年	10月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和63年	3月	熊谷消防署江南出張所及び大里出張所に救急車(2B型)を配置

		(江南救急車シャシー日本損害保険協会寄贈)
昭和63年	4月	機構改革により中央分署を中央消防署に、荒川、玉井、江南、大里の各出張所を分署に改変 熊谷地区消防本部消防長に多田浩氏就任
昭和63年	8月	消防本部及び熊谷消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新
昭和63年	10月	熊谷消防団奈良、別府分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	元年 1月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	元年 2月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	元年 3月	妻沼消防署の救急車を更新 妻沼消防団太田分団車庫竣工
平成	元年 4月	熊谷地区消防組合章を制定
平成	元年 7月	消防本部、中央及び妻沼消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新
平成	元年 8月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成	元年 10月	熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	2年 2月	熊谷消防署の救助工作車を更新
平成	2年 3月	熊谷消防団団本部分団待機室竣工 妻沼消防団長井分団車庫及び男沼分団車庫竣工 江南消防団南分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	2年 6月	中央消防署の指令車を更新
平成	2年 8月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新
平成	2年 10月	妻沼消防団妻沼分団第2部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	2年 11月	妻沼消防団秦分団車庫竣工
平成	3年 3月	妻沼消防団妻沼分団第2部車庫竣工 妻沼消防団男沼分団第2部の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新 妻沼消防署庁舎及び熊谷消防署玉井分署庁舎竣工
平成	3年 4月	熊谷消防署玉井分署に救急車(2B型)を配置 職員を186名に増員 職員定数を214名に改正

平成	4年	2月	熊谷消防団吉岡分団車庫竣工
平成	4年	3月	熊谷消防団成田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	4年	4月	職員を 196 名に増員
平成	4年	10月	熊谷消防署のスノーケル車を 35m のはしご付消防車に更新し、玉井分署に配置
平成	4年	12月	熊谷消防署玉井分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	1月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	4月	職員を 203 名に増員
平成	5年	8月	妻沼消防署の指令車を更新
平成	5年	9月	熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	11月	熊谷消防署玉井分署に普通消防ポンプ自動車を配置
平成	6年	1月	妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署の化学車を更新し、玉井分署に配置
平成	6年	2月	熊谷消防署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新 (三国コカ・コーラボトリング株式会社寄贈)
平成	6年	4月	熊谷地区消防本部消防長に橋本澄男氏就任 職員を 212 名に増員 職員定数を 247 名に改正
平成	6年	8月	熊谷消防署の指令車を更新
平成	6年	9月	熊谷消防署に赤バイ 2 台を配置(江田組株式会社寄贈)
平成	6年	10月	中央消防署の救急車を高規格救急車に更新
平成	6年	11月	中央消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成	6年	12月	中央消防署のはしご付消防自動車(35m)及び普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	7年	1月	熊谷消防団大幡分団及び星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団中央分団及び南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	7年	4月	職員を 222 名に増員
平成	7年	6月	消防本部の査察車(軽四輪)3 台、熊谷消防署広報車及び

			妻沼消防署の救助用ボートを更新
平成	7年	7月	消防本部の装備車を更新
平成	7年	11月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	8年	2月	熊谷消防署のドクターズカー及び中央消防署の救急車 (2B型)を更新
平成	8年	3月	中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 大里消防団 竿頭綬を受章
平成	8年	4月	熊谷地区消防本部消防長に堀越満氏就任 本部に通信指令課を設置 職員を233名に増員
平成	8年	9月	熊谷消防署の広報車1台、熊谷消防署江南分署及び中央 消防署大里分署の査察車各1台を更新
平成	8年	10月	消防職員委員会を設置 アポロキャップ型略帽を採用
平成	9年	1月	熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	9年	2月	熊谷消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ自 動車を更新 熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の救急車 (2B型)を高規格救急車に更新 熊谷消防署玉井分署に救助工作車を配置
平成	9年	3月	大里消防団北分団車庫竣工 消防緊急通信指令施設Ⅱ型を通信指令課に配置 119番受付回線 容量50回線、実装21回線 指令回線 容量40回線、実装7回線 無線設備 基地局1局(12装置) 市町村波 150.31MHZ 県内波 148.29MHZ 全国波① 150.73MHZ " ② 148.75MHZ " ③ 154.15MHZ 救急(復信)波 147.50MHZ 143.50MHZ

デジタル交換機

局線容量 16 回線、実装 9 回線

内線容量 72 回線、実装 68 回線

平成 9 年 4 月	職員を 244 名に増員
平成 10 年 2 月	妻沼消防団妻沼分団第 1 部車庫竣工 熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 10 年 3 月	妻沼消防署の救急車(2B 型)を高規格救急車に更新
平成 10 年 4 月	携帯電話からの 119 番通報受信転送システム開始
平成 10 年 9 月	熊谷消防署玉井分署及び中央消防署荒川分署の査察車各 1 台を更新
平成 11 年 1 月	熊谷消防団中央分団及び江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 11 年 2 月	妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 11 年 3 月	江南消防団 竿頭綬を受章
平成 11 年 4 月	熊谷地区消防本部消防長に山川幸男氏就任
平成 11 年 8 月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成 11 年 10 月	消防本部に 8 人乗りワゴン車を配置(故廣田雪枝氏 寄贈)
平成 12 年 2 月	熊谷消防署玉井分署の救急車(2B 型)を高規格救急車に更新 熊谷消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成 12 年 5 月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団荒川分団、妻沼消防団長井分団及び江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 12 年 8 月	消防本部の査察車を更新
平成 12 年 10 月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新 中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新
平成 13 年 4 月	職員を 245 名に増員
平成 13 年 6 月	熊谷消防団上石分団、妻沼消防団妻沼分団第 1 部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成13年10月	熊谷地区消防音楽隊発足
平成13年11月	中央消防署指令車を更新
平成14年4月	組合構成市町村の大里村、町制を施行
平成14年8月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長富岡清氏就任
平成14年10月	中央消防署の高規格救急車を災害対応特殊救急自動車に更新
平成15年1月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年2月	妻沼消防団秦分団及び男沼分団第1部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年4月	熊谷地区消防本部消防長に福島正美氏就任
平成15年7月	熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成15年10月	熊谷消防団奈良分団、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年11月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新
平成16年10月	新潟県中越地震に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成17年3月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成17年4月	熊谷地区消防本部消防長に中島裕一氏就任 熊谷消防署に指揮隊を設置
平成17年9月	江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成17年10月	組合構成市町の熊谷市、大里町、妻沼町が合併(廃置分合)により新熊谷市誕生 熊谷消防署の救助工作車を更新
平成18年10月	警防課に指揮隊車を配置
平成18年11月	熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成19年2月	組合構成市町(熊谷市、江南町)の廃置分合により熊谷地区消防組合が解散 熊谷市消防本部並びに熊谷消防署、熊谷消防署玉井分署、熊谷消防署江南分署、中央消防署、中央消防署荒川分署、中央消防署大里分署及び妻沼消防署を設置

		職員定数 247 名
		消防長に中島裕一氏就任
		熊谷消防団及び江南消防団を統合し、熊谷市消防団を設置
		団員定数 513 名
平成 20 年	1 月	中央消防署大里分署、妻沼消防署の高規格救急自動車を更新 熊谷市消防団成田分団、佐谷田分団、弥藤吾分団、小島分団 の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 20 年	2 月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新
平成 20 年	3 月	予防課、警防課の査察車を更新
平成 20 年	4 月	熊谷市消防本部消防長に松葉一三氏就任
		職員を 246 名に増員
		団員定数を 528 名に改正
		女性消防団員を 17 名採用
平成 20 年	9 月	水難救助に対応するため妻沼消防署に水上バイクを配置
平成 20 年	10 月	中央消防署の救急自動車(2B 型)を高規格救急自動車に更新 熊谷市消防団本部女性小隊車両(可搬ポンプ付)を配置
平成 20 年	12 月	熊谷消防署玉井分署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 21 年	1 月	熊谷消防署江南分署の高規格救急自動車を更新 消防音楽隊第 1 回定期演奏会を開催
平成 21 年	3 月	消防本部の指令車を更新 警防課の査察車を更新し、装備車を多目的車として更新 熊谷市消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新 指令課に高機能消防指令センターを更新整備
		主な装置
		・ メール 119 番・FAX119 番・駆け込み 119 番受付装置
		・ 発信地表示システム
		・ 災害情報表示装置
		・ 消防情報支援システム
		・ 車両動態位置管理装置
		・ 自動出動指定装置
		・ E メール災害情報配信システム
		・ EPV システム

平成21年10月	中央消防署及び妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成21年12月	中央消防署の高規格救急自動車を更新 中央消防署新庁舎の基本設計を実施
平成22年 1月	中央消防署新庁舎建設予定地の地質調査を実施
平成22年 2月	熊谷市筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を普通消防ポンプ自動車に更新 熊谷市大里中央分団及び大里南分団の普通消防ポンプ自動車を更新 消防総務課に研修車（天然ガス車）を配置 消防音楽隊第2回定期演奏会を開催
平成22年 3月	消防本部の空気ボンベ充填庫整備
平成22年 4月	熊谷市消防本部消防長に新井義一氏就任 職員を247名に増員
平成23年 2月	消防音楽隊第3回定期演奏会を開催 熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成23年 3月	熊谷消防署玉井分署のはしご付消防自動車を先端屈折式はしご車（30m）に更新 中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷市消防団大幡分団、星宮分団、太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署に支援車を配置（総務省消防庁貸与） 東日本大震災に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成23年 4月	熊谷市消防本部消防長に須賀忠氏就任
平成23年10月	行田市と消防本部指令センターで消防通信指令事務の共同運用を開始
平成23年12月	熊谷市消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成24年 2月	熊谷消防署の指令車を更新 消防音楽隊第4回定期演奏会 発足10周年記念コンサート開催 熊谷消防署玉井分署の救助工作車を更新
平成24年 3月	熊谷市消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新

組織及び予算



歴代消防長

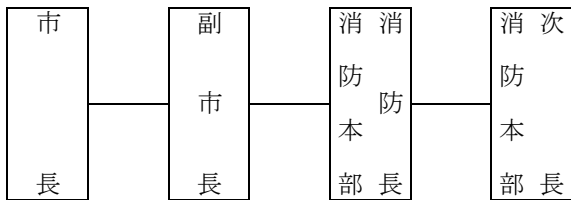
消防長

氏名	在任期間	備考
鴨田宗一	昭和 23 年 3 月 ~ 昭和 31 年 3 月	市消防本部
青木勝之助	昭和 31 年 3 月 ~ 昭和 43 年 3 月	〃
神尾貞治	昭和 43 年 3 月 ~ 昭和 47 年 3 月	〃
吉野利男	昭和 47 年 4 月 ~ 昭和 57 年 4 月	地区消防本部
門倉恒一	昭和 57 年 6 月 ~ 昭和 60 年 3 月	〃
中村和夫	昭和 60 年 4 月 ~ 昭和 63 年 3 月	〃
多田浩	昭和 63 年 4 月 ~ 平成 6 年 3 月	〃
橋本澄男	平成 6 年 4 月 ~ 平成 8 年 3 月	〃
堀越満	平成 8 年 4 月 ~ 平成 11 年 3 月	〃
山川幸男	平成 11 年 4 月 ~ 平成 15 年 3 月	〃
福島正美	平成 15 年 4 月 ~ 平成 17 年 3 月	〃
中島裕一	平成 17 年 4 月 ~ 平成 19 年 2 月	〃
中島裕一	平成 19 年 2 月 ~ 平成 20 年 3 月	市消防本部
松葉一三	平成 20 年 4 月 ~ 平成 22 年 3 月	〃
新井義一	平成 22 年 4 月 ~ 平成 23 年 3 月	〃
須賀忠	平成 23 年 4 月 ~	〃

消 防 組 織 表

面積 159.88 km²
 世帯数 82,508世帯
 人口 203,630人

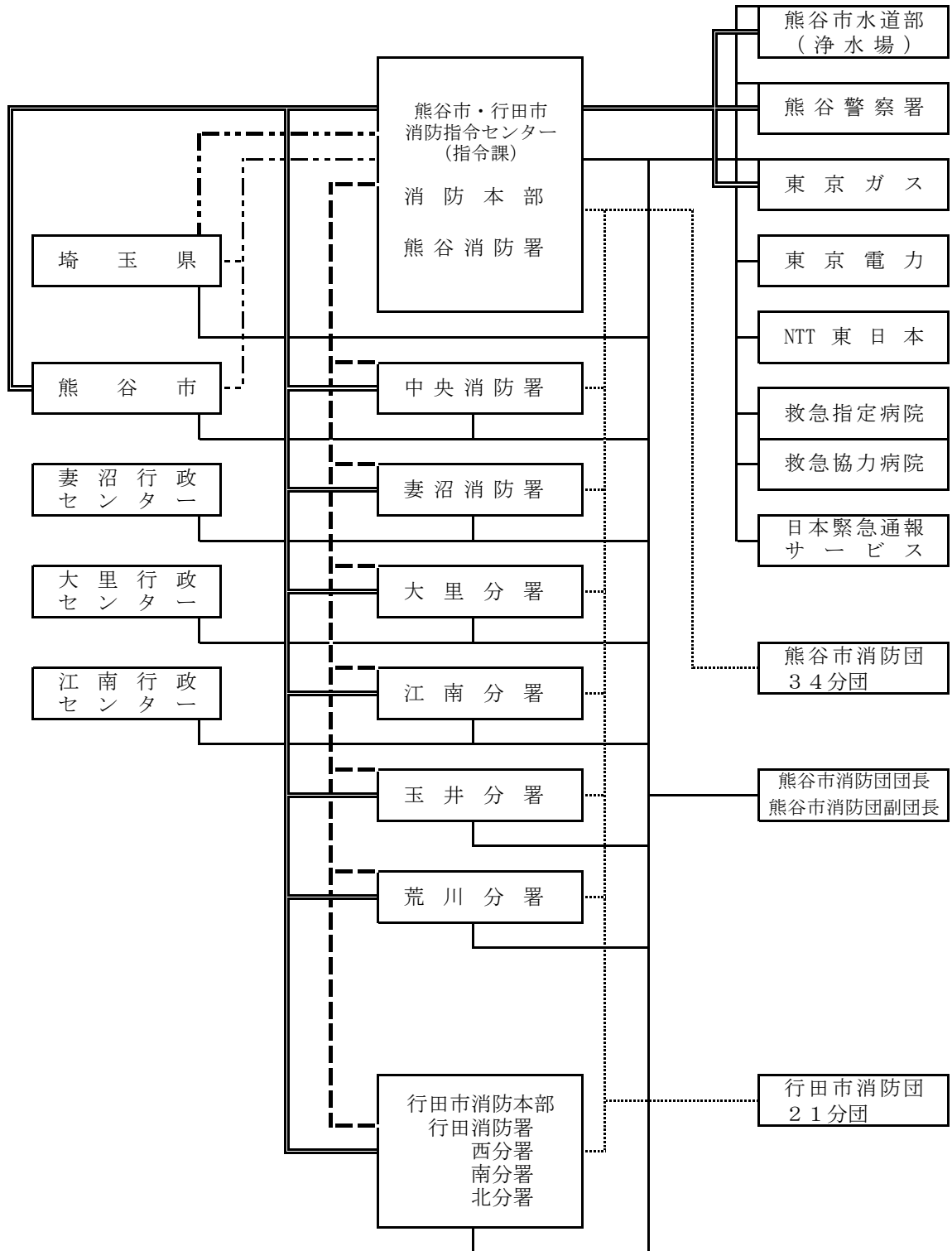
(平成24年4月1日現在)



	消防総務課		総務係	
			職員係	
	予防課		予防係	
			保安係	
			査察指導係	
	警防課		警防係	
			消防団係	
			救急係	
			指揮係 (第一部、第二部)	
			指令係 (第一部、第二部)	
指令課		指令係 (第一部、第二部)		
	熊谷消防署	予防係		
		第一部	消防係	
			救助係	
			救急係	
		第二部	消防係	
			救助係	
			救急係	
		玉井分署	第一部	消防係
				救助係
			第二部	消防係
	救助係			
	江南分署	第一部	消防係	
			消防係	
		第二部	消防係	
			消防係	
		中央消防署	予防係	
第一部			消防第一係	
			消防第二係	
			救急係	
第二部			消防第一係	
			消防第二係	
			救急係	
荒川分署			第一部	消防係
				消防係
			第二部	消防係
		消防係		
大里分署		第一部	消防係	
	消防係			
	第二部	消防係		
		消防係		
	妻沼消防署	予防係		
		第一部	消防第一係	
			消防第二係	
			救急係	
		第二部	消防第一係	
			消防第二係	
救急係				

消 防 通 信 系 統 図

- 専用電話 消防無線 (傍受)
- 加入電話 - - - - 防災無線
- - - - 消防無線 - · - · - 衛星回線



消 防 本 部 事 務 分 掌

消 防 総 務 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防の総合企画及び調整に関すること。 2 渉外及び儀式に関すること。 3 表彰に関すること。 4 公印の管理に関すること。 5 文書の收受及び管理に関すること。 6 消防が所有する情報の公開及び個人情報の保護に関すること。 7 消防音楽隊に関すること。 8 特命事項の調査及び研究に関すること。 9 催し物又は各種会議の開催及び調整に関すること。 10 消防長会に関すること。 11 消防年報の編集発行及び消防広報に関すること。 12 請願及び陳情並びに相談等の受付及びその連絡調整に関すること。 13 職員の任用、分限、懲戒及び服務に関すること。 14 職員の衛生管理に関すること。 15 職員の被服貸与に関すること。 16 職員の給料、手当及び公務災害補償に関すること。 17 職員の消防に関する研修計画の策定及び実施に関すること。 18 消防職員委員会に関すること。 19 予算要望の取りまとめに関すること。 20 物品の経理及び保管に関すること。 21 消防長の権限に属する例規類の制定及び改廃に関すること。 22 消防長の権限に属する訓令、通達、指令に関すること。 23 消防情報システムに係る総合的な企画及び調整に関すること。 24 他の課に属さない事項の処理に関すること。 25 本部内の連絡調整に関すること。 26 課の庶務に関すること。
予 防 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災予防の企画に関すること。 2 予防広報に関すること。 3 屋外の火災予防措置命令に関すること。 4 防火協力団体に関すること。 5 防火対象物の査察及び違反処理に関すること。 6 建築許可等の同意に関すること。 7 防火管理に関すること。 8 危険物等の規制に関すること。 9 危険物製造所等の査察及び違反処理に関すること。 10 消防用設備等（特殊消防用設備等）の設置の指導に関すること。 11 熊谷市火災予防条例（平成18年条例第184号）に関すること。

<p>予 防 課</p>	<p>12 液化石油ガス、産業廃棄物、防災処理等の許可等に係る意見書等の交付に関する こと。 13 火薬類取締法（昭和25年法律第143号）及び火薬類取締法施行規則（昭和2 5年通商産業省令第88号）に基づく事務に関すること。 14 高压ガス保安法（昭和26年法律第204号）に基づく事務に関すること。 15 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第1 49号）に基づく事務に関すること。 16 消防署の予防事務の指導に関すること。 17 その他の予防業務に関すること。 18 課の庶務に関すること。</p>
<p>警 防 課</p>	<p>1 警防業務の総括に関すること。 2 消防部隊の訓練及び演習に関すること。 3 消防機械器具の整備保全及び配置に関すること。 4 消防水利に関すること。 5 公有自動車共済事務に関すること。 6 消防安全管理に関すること。 7 安全運転管理に関すること。 8 開発行為に伴う消防上の指導に関すること。 9 消防相互応援及び広域応援に関すること。 10 火災警報の発令に関すること。 11 救急業務の企画立案に関すること。 12 救急高度化事業の推進に関すること。 13 医療機関との連絡調整に関すること。 14 メディカルコントロール協議会に関すること。 15 救急隊員の教育訓練及び指導に関すること。 16 患者搬送事業の指導及び認定に関すること。 17 応急手当の指導普及に関すること。 18 消防団に関すること。 19 団員に関すること。 20 消防協会に関すること。 21 消防連絡協議会に関すること。 22 指揮活動に関すること。 23 災害活動技術の調査研究に関すること。 24 火災原因及び損害の調査等に係る指導・支援に関すること。 25 火災報告に関すること。 26 庁舎及び構内の営繕に関すること。 27 課の庶務に関すること。</p>

指 令 課	1 出動指令及び転戦指令に関すること。
	2 消防緊急通信指令施設の運用及び維持管理に関すること。
	3 消防無線の維持管理に関すること。
	4 熊谷市・行田市消防通信指令事務協議会に関すること
	5 通信技術の指導に関すること。
	6 災害情報収集及び活動支援情報の伝達に関すること。
	7 口頭指導プロトコールに関すること。
	8 気象観測業務に関すること。
	9 埼玉県防災行政無線に関すること。
	10 衛星通信システムに関すること。
	11 緊急通信システムに関すること。
	12 課の庶務に関すること。

消 防 署 、 分 署 事 務 分 掌

消防署、分署の事務分掌は、水火災の警戒、鎮圧及び救助救急活動に関する事務のほか、次のとおりとする。

消 防 署	1 公印の保管に関すること。
	2 火災予防に関すること。
	3 防火対象物の査察及び違反処理に関すること。
	4 防火管理に関すること。
	5 消防用設備等（特殊消防用設備等）の検査及び検査済証の交付に関すること。
	6 消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検報告に関すること。
	7 消防法令に適合している旨の通知書等の交付に関すること。
	8 熊谷市火災予防条例（平成18年条例第184号）に関すること。
	9 り災証明及び救急搬送証明に関すること。
	10 圧縮アセチレンガス等の届出等に関すること。
	11 消防水利の保全調査に関すること。
	12 消防団、自衛消防隊及び自治会等に対する訓練指導に関すること。
	13 火災原因及び損害の調査に関すること。
	14 応急手当の指導普及に関すること。
	15 その他消防活動上及び火災予防上必要な事項に関すること。
	16 庶務に関すること。

現 有 人 員

平成24年4月1日現在

階 級 区 分		消 防 吏 員							その他	計		
		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士		-	
実 員		1	3	29	45	81	36	14	34	2	245	
実 員 配 置 状 況	消 防 本 部	消 防 長	1								1	
		次 長		1							1	
		消防総務課		1	1	2	6 (2)	3 (1)		3 (3)	1	17 (6)
		予 防 課			2	3	3					8
		警 防 課			5	5	6		1		1	18
		指 令 課			3	3	3		1	1		11
	消 防 署	熊谷消防署		1	3	6	12	9	4	6		41
		玉井分署			2	5	11	5	1	6		30
		江南分署			2	5	6	3	1	1		18
		中央消防署			4	5	14	6	2	7		38
		荒川分署			1	4	3	1	2	1		12
		大里分署			2	3	7	3	1	2		18
		妻沼消防署			4	4	10	6	1	7		32

※ () 内書きは、消防総務課付学生等
 ※実際の配置状況による。

消 防 職 員 年 齢 状 況

平成24年4月1日現在

階 級 区 分		消 防 吏 員							その他	計	
		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士		-
18才～20才									11		11
21才～25才								3	19		22
26才～30才							6	11	4		21
31才～35才						9	28			1	38
36才～40才						47	2			1	50
41才～45才					5	19					24
46才～50才				2	26	2					30
51才～55才				8	6	1					15
56才以上		1	3	19	8	3					34
人 員 計		1	3	29	45	81	36	14	34	2	245
平 均 年 齢		58	58	56	50	40	33	28	23	35	40

消 防 職 員 勤 続 年 数 状 況

平成24年4月1日現在

階 級 区 分	消 防 吏 員								その他	計
	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	-	
1年未満								6		6
1年以上～5年未満							6	28		34
5年以上～10年未満						11	8			19
10年以上～15年未満					4	11			2	17
15年以上～20年未満					45	14				59
20年以上～25年未満				2	18					20
25年以上～30年未満				25	10					35
30年以上	1	3	29	18	4					55
人 員 計	1	3	29	45	81	36	14	34	2	245
平均勤続年数	35	40	36	31	20	12	5	2	11	20

常 備 消 防 管 内 情 勢

平成24年4月1日現在

区 分 所 属 別	世帯数	人口	職員 現在数	職 員 1 人 当 り	
				世帯数	人口
熊谷市消防本部			56		
熊谷消防署	12,384	31,561	41	302	770
玉井分署	16,975	41,365	30	566	1,379
江南分署	4,688	12,175	18	260	676
中央消防署	22,318	52,857	38	587	1,391
荒川分署	13,106	30,337	12	1,092	2,528
大里分署	3,159	8,773	18	176	487
妻沼消防署	9,878	26,562	32	309	830
計	82,508	203,630	189	437	1,077

※職員現在数の計は消防本部職員現在数を除いたものとなっています。

消 防 職 員 研 修 状 況 (現職)

科 目		年 度						計	
		～H18	19	20	21	22	23		
消 防 大 学 校	総合教育	幹部科 (H18～)	1	1	1	1	1	5	
		上級幹部科						0	
		新任消防長・学校長科						0	
	専科教育	警防科	6	1		1		8	
		救助科	4		1			5	
		救急科	2	1				3	
		予防科	5				1	6	
		危険物科 (H18～)						0	
		火災調査科	2		1			1	4
	危機管理・防災教育科		1					1	
	緊急消防援助隊航空コース	1						1	
	火災調査講習会	3						3	
	防災講習会	1						1	
	緊急消防援助講習	1						1	
	埼 玉 県 消 防 学 校	初任教育	203	5	8	5	8	6	235
専科教育		警防科 (H17～)	2	2	2	2	2	2	12
		予防査察科 (H16～)	4	2	2	2	2		12
		火災調査科		2		2		2	6
		特殊災害科	4	2	2		2		10
特別教育		救急科	65	4	6	7	7	7	96
		救助科 (H2～)	25	2	2	2	2	2	35
研修		警防活動教育	1	2	2	2	2	2	11
		水難救助員教育		3	2				5
		実科指導員科	9	2		2		2	15
		高度・特別高度救助教育(H22～)					2	2	4
終了		幹部特別教育	7			1			8
		救助課程 (～H1)	19						19
		警防科 (～H16)	21						21
		予防科	18						18
		機関科	6						6
		通信科	11						11
		水難救助科	21						21
		救急隊長課程	3						3
		梯子車運用課程	15						15
	警防隊長特別教育	3						3	
救助隊長特別教育	3						3		
校	救急Ⅱ課程	59						59	
	初級幹部科	12		5	1	1	2	21	
	中級幹部科	5		3	1	1		10	
	上級幹部科				1			1	
埼玉県救急救命士養成所	7	2	1	1	1	1	13		
救急救命東京研修所	11		1	1	1	1	15		
救急救命九州研修所	4						4		
合 計		564	32	39	32	33	30	730	

消防吏員特殊技能その他資格取得者数

平成24年4月1日現在

種 別			階級別			正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合 計
			正監	監	司令長									
自動 運 転 車 免 許	大型	第 一 種		3	29	45	80	36	13	15	221			
		第 二 種				2	2				4			
		特 殊					1				1			
	中型	第 一 種	1	3	29	45	80	36	13	18	225			
	普通	第 一 種								1	16	17		
特種(含農耕用)				1	4	3					8			
けん引						1	1				2			
自動二輪車(含中型)			1	2	23	27	29	8	4	5	99			
移動式クレーン運転士					2	1					3			
自動車整備士						1					1			
危 険 物 取 扱 者 免 許	甲種	第 1 類			1	1					0			
		第 2 類			1	1					2			
		第 3 類			1	1					2			
		第 4 類	1	1	7	9	22	7	2	2	51			
		第 5 類			1	1					2			
		第 6 類			1	1					2			
	丙種				1	29	24				54			
消 防 設 備 士 免 許	甲種	第 1 類	1	1	1	1					4			
		第 2 類				1					1			
		第 3 類						1			1			
		第 4 類	1	1	2	1		2			7			
		第 5 類				1			1		2			
		第 6 類			1	2					3			
		第 7 類									0			
	乙種	第 1 類			1	2					3			
		第 2 類									0			
		第 3 類							1		0			
		第 4 類			2	1	1		1		5			
		第 5 類				1					0			
		第 6 類	1	1	4	4	7	5	1		23			
		第 7 類				1					1			
小 型 船 舶 操 縦 士	1 級					1					1			
	2 級			5	12	22	4	1	1	45				
	特 殊			3	8	10	5	3	1	30				
救 急 救 命 士					2	8	20	2	3	5	40			
救 急 標 準 資 格 者				1	1	4	61	25	2	1	95			
救 急 II 資 格 者				1	16	29	13				59			
救 急 I 資 格 者			1	2	27	40	15				85			
応急手当指導員インストラクター					2	5	1				8			
応急手当指導員				3	26	43	77	36	4	21	210			
日赤救急法救急員資格者						2	65	19		1	87			
JPTECインストラクター						1	6				7			
JPTECプロバイダー					1	5	11	8	1		26			

種 別		階級別		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合 計
無線技士	航空特殊						2					2
	陸上特殊1						2			1		3
	陸上特殊2				6	14	9	5	2			36
	陸上特殊3		2	2	2	42	9	11		23		91
	第4級アマチュア			3	1		1					5
ボイラー取扱技術者						2	2					4
アーク・ガス溶接士			1	11	18	15	6			2		53
玉掛け技能				4	8	9	7	2		1		31
小型移動式クレーン技能				6	12	9	6	2		1		36
高所作業車技能				2	1				1			4
16ミリ映写機操作免許			1		2							3
電気工事士					3	1	3					7
毒物劇物取扱者			1									1
特定化学作業主任者				5	10	18	3	1				37
第二種酸素欠乏危険 作業主任者				3	8	7	6	3		2		29
潜水士				3	10	13	10	3		4		43
ダイバー技能					4	11	8	1				24
足場組立				2	4							6
防災士								1				1
二級建築士						2						2
衛生管理者				4	3							7
テクニカルロープレスキュー						4	7	1				12
スイフトウォーターレスキュー							1	1				2
予防技術 資格者	防火査察		2	8	6	14	7	4				41
	消防用設備等		2	7	6	9						24
	危険物専門員		1	3	3	9						16

平成24年度消防予算

市予算と消防予算

(平成24年4月1日)

一般会計 (千円)	消防費 (千円)	割合 (%)
57,500,000	3,059,159	5.3

消防費内訳

(平成24年4月1日)

款	項	目	予算額 (千円)
消防費	消防費		3,059,159
		消防総務費	2,030,670
		常備消防費	882,123
		消防団費	105,525
		防災費	40,841

消防予算と人口、世帯の割合

(平成24年4月1日)

消防費 (千円)	市人口		世帯	
	人口	1人当り (円)	世帯数	1世帯当り (円)
3,059,159	203,630	15,023	82,508	37,077

消 防 音 楽 隊

儀式、式典及び諸行事に参加し、音楽活動を通じて、広く地域住民に対して、消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発活動を図るため、平成13年10月1日に設立しました。消防関係行事をはじめ、市主催の各種行事にも参加し、演奏を行いながら消防のPRに努めています。

1 編 成 (平成24年4月1日現在)

(1) 隊員編成

隊 長 1 人 副隊長 2 人 隊 員 27 人

(2) 使用楽器

楽器名	数量	楽器名	数量
フルート	3	フレンチホルン	2
クラリネット	3	ユーホニウム	2
ソプラノサクソ	1	チューバ	2
アルトサクソ	3	ドラムセット	1
テナーサクソ	2	バスドラム	1
バリトンサクソ	1	シンバル	1
トランペット	6	シロフォン	1
トロンボーン	3	グロッケン	1
ティンパニー	1		

2 活動状況 平成23年度

	演 奏 回 数			
	計			
		消防関係	市関係	その他
4月				
5月	1			1
6月				
7月				
8月				
9月	1			1
10月	2		2	
11月	2	2		
12月	1		1	
1月	2		2	
2月	2	1	1	
3月	2	1	1	
計	13	4	7	2

消防施設及び機械



消防本部、消防署、分署庁舎一覧表

平成24年4月1日現在

区分	所在地	構造	延面積 (㎡)	建築年月
熊谷市消防本部 熊谷消防署	熊谷市原島 675番地1	鉄筋コンクリート造 三階建	2,432.03	昭和 58.6
訓練棟		訓練棟高さ 8.5m2棟 17.0m1棟 8.5m1棟		平成 6.3 (平成15.3)
修理工場		重量鉄骨・スレート 平屋建	85.00	昭和 53.8
高圧ガス 容器貯蔵庫		コンクリートブロッ クスレート・平屋建	8.76	昭和 55.3
空気ボンベ 充填庫		コンクリートブロッ ク造鋼板葺平屋建	18.25	平成 22.3
玉井分署	熊谷市新堀 319番地2	鉄筋コンクリート造 二階建	1,199.61	平成 3.3
江南分署	熊谷市千代 113番地8	鉄筋コンクリート造 二階建	345.60	昭和 48.2
中央消防署	熊谷市宮町 2丁目137番地	木造モルタル 一部鉄筋亜鉛葺 二階建	527.44	昭和 30.4
荒川分署	熊谷市宮前町 1丁目106番地	鉄筋コンクリート造 二階建	264.24	昭和 36.8
大里分署	熊谷市中曽根 646番地	鉄筋コンクリート造 二階建	345.60	昭和 48.2
妻沼消防署	熊谷市妻沼 1720番地1	鉄筋コンクリート造 三階建	1,198.80	平成 3.2

消 防 ポ ン プ 自 動 車 等 性 能 一 覧 表

平成24年4月1日現在

	車名	種別	車名型式	機装会社	年式	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型	備考
消 防 本 部	本部指令1号車	指令車	トヨタ DBA- GRX120	埼玉 トヨペット	H21	3	2,490		無線付、AT
	総務1号車	連絡車	ダイハツ GF-L700S	埼玉 ダイハツ	H12	12	650		無線付、AT
	総務2号車	研修車	三菱 GBD-U61V改	埼玉 三菱	H22	2	650		天然ガス、AT
	予防1号車	査察車	スズキ EBD-DA64V	関東イスク	H20	4	650		無線付、AT
	予防2号車	連絡車	三菱 GD-U61V	三菱テク ノサービス	H12	12	650		無線付、AT
	警防1号車	連絡車	マツダ EBD-DG64V	関東マツダ	H21	3	650		無線付、AT
	警防2号車	装備車	スズキ EBD-DA64V	関東イスク	H20	4	650		無線付、AT 車両整備機材積載
	警防3号車	多目的車	イスク CBF- JCSGE25	関東イスク	H21	3	2,480		無線付、AT、ナビ付、AVM
	消防本部車	業務車	トヨタ YA-JKS175	埼玉トヨタ	H13	11	2,990		ハイブリッド、AT
	熊谷指揮1号車	指揮車	トヨタ CBF-TR H226K	㈱ネイチャー	H18	6	2,690		無線機2台、FAX、PC他 指揮用機材、AVM付、AT、 緊急消防援助隊登録
救急指導車	救急指導車	ニッサン GF-ALE50	埼玉日産	H11	13	3,270		AT	
熊 谷 消 防 署	熊谷1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ KC- FH2KLEA改	GMいちほら	H12	12	13,260	A-2級	水槽4,000ℓ、無線付、照明灯 付400W×4灯(メタルハライド ランプ)、水II型、AVM
	熊谷2号車	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FG73ED	日本エレ ファント	H15	9	5,240	A-2級	無線付、CD-1型、照明灯500w×2 灯(ハロゲン)、牽引フック付、 AVM、4WD、緊急消防援助隊登録
	熊谷救助1号車	救助工作車	ヒノ PB-GX7GFA	帝国繊維	H17	7	6,400		油圧ウインチフロント5t、リヤ10t、 クレーン2.93t、照明装置600W×4灯、無線付、 救助II型、カーナビ付、4WD、ゴムボート、 船外機、AVM、緊急消防援助隊登録
	救急熊谷1号車	救急車	トヨタ CBF- TRH226S	トヨタテク ノクラフト	H22	2	2,690		無線付、自動車電話、カーナ ビ、AT、高規格救急車、 4WD、バックアイ付、AVM
	熊谷指令1号車	指令車	マツダ DBF-BVY12	マツダ オートザム	H24	0	1490		無線付、AT、AVM
	熊谷査察1号車	査察車	三菱 GD-U61V	三菱テク ノサービス	H12	12	650		無線付
	熊谷支援1号車	支援車	ヒノ BDG- FQ1EWYG	ヨコハマモ ーターセールス	H23	1	12,910		無線付、4WD、パワーゲート 拡張室、定員10(26)人、 緊急消防援助隊登録

	車名	種別	車名型式	機装会社	年式	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型	備考
熊谷消防署	熊谷機材1号車	資機材搬送車	三菱 KK-FE53EE	三菱ふそう	H12	12	5,240		無線付、パワーゲート、幌付、3tロングボディー、緊急消防援助隊登録、AVM
	中型輸送車	人員輸送車	三菱 KK-BE66DG	三菱ふそう	H11	13	4,890		AT、AVM
	熊谷トレーラー	ボートトレーラー	キング	株スナガ	H21	3			
	熊谷ボート	救助ボート	ヤマハ W-18E		S61	26			船外機M-25C-25PSトーハツ
	熊谷ボート2	救助ボート	アキレスマリン		H17	7			船外機JET20-20PSマーキュリー
玉井分署	玉井1号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	株モリタ	H20	4	4,000	A-2級	無線付、CD-I型、照明灯150w×2灯(メタハラ)、AVM、キャブス装置、電動ホース
	熊谷梯子1号車	はしご付消防自動車	ヒノ LDG-PR1APBF	株モリタ	H23	1	8,860		MLJSH5-30S型、無線付、30m級、先端屈折、リフター、バスケット付、AVM、4WS
	熊谷救助2号車	救助工作車	ヒノ SDG-GX7JGAAH24	株モリタ	H24	0	6,400		救助III型、ウインチ(フロント5t、リヤ5t)、クレーン2,93t、照明装置450W×2灯、無線付、AVM、埼玉県特別機動援助隊登録
	熊谷化学1号車	化学車	ヒノ U-GD3HGAA	GMいちほら	H6	18	7,410	A-2級	水槽1,300ℓ、薬槽500ℓ、無線付、化学II型、照明灯付500W×8灯、AVM
	救急玉井1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	4	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM
	玉井査察1号車	査察車	スズキ V-DE51V	小池株式会社	H10	14	650		無線付
	玉井可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツ V38AS	トーハツ	S49	38	385	B-3級	
江南分署	江南1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ KK-GDLJGDA改	GMいちほら	H12	12	7,960	A-2級	水槽1,500ℓ、無線付、照明灯付400W×4灯(メタハラ)、水IB型、AVM
	救急江南1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H21	3	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM
	江南査察1号車	査察車	スズキ E-JB32W	小池株式会社	H8	16	1,290		無線付、4WD、牽引フック付
	江南トレーラー	ボートトレーラー	エスコ11型		H9	15			
	江南ボート	救助ボート	ヤマハ W-14A		S59	28			
	江南可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツ V38-AS	トーハツ	S49	38	385	B-3級	
中央	中央1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ PB-GD7JGFA改	株ネイチャー	H17	7	6,400	A-2級	水槽1,500ℓ、照明装置(メタハラ400W×4灯)、無線付、AVM、水IB型
	中央2号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	株モリタ	H21	3	4,000	A-2級	無線付、CD-I型、照明装置(メタハラ70W×2)、キャブス装置、AVM、緊急消防援助隊登録

	車名	種別	車名型式	機装会社	年式	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型	備考
中央消防署	中央3号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノBDG-GD7JGWA改	(株)モリタ	H21	3	6,400	A-2級	水槽1,500ℓ、照明装置(メタハラ70W×2)、無線付、AVM、電動ホースカー、水IB型
	熊谷梯子2号車	はしご付消防自動車	ヒノU-FR3FPBA	(株)モリタ	H6	18	19,680		30m級(35m)、無線付、AVM
	救急中央1号車	救急車	トヨタCBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H21	3	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM
	救急中央2号車	救急車	トヨタCBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	4	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、バックアイ付、AVM、4WD、緊急消防援助隊登録
	中央指令1号車	指令車	ニッサンTA-WFY11	埼玉日産	H13	11	1,490		無線付、AT、AVM
	中央査察1号車	査察車	ダイハツGD-S200V	埼玉ダイハツ	H12	12	659		無線付
	中央可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツV38AS	トーハツ	S49	38	385	B-3級	
荒川分署	荒川1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノBDG-GD7JGWA改	(株)ネイチャー	H23	1	6,400	A-2級	水槽1,500ℓ、照明装置(メタハラ70W×2)、無線付、AVM、電動ホースカー、水IB型
	荒川査察1号車	査察車	スズキV-DE51V	小池株式会社	H10	14	650		無線付
	荒川ボート	救助用ボート	エイボン社		H21	3			船外機M8A-8PS トーハツ
	荒川可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツV38AS	トーハツ	S49	38	385	B-3級	
大里分署	大里1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノKK-GD1JGDA改	GMいちほら	H12	12	7,960	A-2級	水槽1,500ℓ、無線付、照明灯付400W×4灯(メタハラ)、水IB型、AVM
	救急大里1号車	救急車	トヨタCBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	4	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM
	大里査察1号車	査察車	スズキE-J B32W	小池株式会社	H8	16	1,290		無線付、4WD、牽引フック付
	大里トレーラー	ボートトレーラー	エスコ11型		H9	15			
	大里ボート	救助ボート	ヤマハW-14A		S58	29			
	大里可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	シバウラL618Z	シバウラ	H22	2	600	B-2級	
妻沼消防署	妻沼1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノBDG-GD7JGWA改	(株)モリタ	H21	3	6,400	A-2級	水槽1,500ℓ、照明(メタハラ70W×2)、水IB型、無線付、AVM、電動ホースカー、緊急消防援助隊登録
	妻沼2号車	普通消防ポンプ自動車	ニッサンKC-BKR71GN	GMいちほら	H11	13	4,570	A-2級	無線付、CD-I型、AVM、牽引フック付
	救急妻沼1号車	救急車	トヨタCBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	4	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM

	車名	種別	車名型式	機装会社	年式	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型	備考
妻沼消防署	妻沼指令1号車	指令車	イズブ KD- UBS69GW	新星工業	H8	16	3,050		無線付、牽引フック付、AT、AVM、4WD
	妻沼査察1号車	査察車	ダイハツ GD-S200V	埼玉ダイハツ	H12	12	659		無線付
	妻沼トレーラー	ボート トレーラー	サン自動車		H7	17			
	妻沼バイクトレーラー	水上バイク トレーラー	キング	(株)スナガ	H20	4			
	妻沼ボート	救助用 ボート	スナガ SF-16		H7	17			船外機MERC15-13PSマーキュリー
	熊谷水上バイク1	水上バイク	BRP社	(株)スナガ	H20	4	1,494		船内機ROTAX1503-131PS
	妻沼可搬式ポンプ	小型動力 ポンプ	V-15A	トーハツ	S52	35	146	C-1級	
非常用車両	予備水槽車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ KC- GDIJGBA	野口ポンプ	H8	16	7,960	A-2級	水槽1,5000照明装置(メタハラ1,800W×2灯)、無線付、水IB型、AVM
	予備1ポンプ車	普通消防 ポンプ自動車	イズブ KU- NKR71GN	GMいちほら	H9	15	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
	予備2ポンプ車	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KC-FE538B	野口ポンプ	H9	15	4,560	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
	救急熊谷2号車	救急車	トヨタ TC-VCH38S	トヨタテクノクラブ	H14	10	3,370		高規格救急車、無線付、自動車電話付、AT、AVM

救助工作車積載器材保有状況

平成24年4月1日現在

救助工作車 II 型	
車 両	クレーン 最大2.93t
	フロントウインチ 最大5t
	リヤウインチ 最大10t
	照明装置 600W×4灯
	超高压消火装置

救助工作車 II 型	
車 両	クレーン 最大2.93t
	フロントウインチ 最大5t
	リヤウインチ 最大5t
	照明装置 450W×2灯

一 般 救 助 用 器 具	かぎ付き梯子	2
	三連梯子	2
	ワイヤー梯子	2
	空気式救助マット	2
	救命索発射銃	2
	サバイバーリング及び縛帯	3
	平担架	2
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ	2
	油圧スプレッダー	2
	可搬ウインチ	2
	マンホール救助器具	2
	マット型空気ジャッキ	2
	大型油圧スプレッダー	2
	救助用支柱器具	1
チェーンブロック	1	
切 断 用 器 具	油圧切断器	2
	エンジンカッター	2
	ガス溶断器	2
	チェーンソー	2
	鉄線カッター	2
	空気鋸	2
	大型油圧切断器	2
	空気切断器	2
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	
破 壊 用 器 具	万能斧	3
	ハンマー	2
	携帯用コンクリート破壊器具	2
	削岩機	2
ハンマドリル	3	
測 定 用 器 具	可燃性ガス測定器	2
	有毒ガス測定器	3
	酸素濃度測定器	3
	放射線測定器	2
呼 吸 保 護 用 器 具	空気呼吸器	20
	酸素呼吸器	10
	簡易呼吸器	14
	防塵マスク	10
	送排風機	2

隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋	10
	耐電衣	4
	耐電ズボン	4
	耐電長靴	4
	防塵メガネ	10
	携帯警報機	10
	除 染 器 具	防毒マスク
化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）		41
陽圧式化学防護服		12
耐熱服		2
放射線防護服		4
除染シャワー		2
水 難 救 助 器 具	除染剤散布器	2
	救命胴衣	11
	救命浮環	4
	救命ボート	1
山 岳 器 具	船外機	1
	バスケット担架	4
	検索器具	2
高 度 救 助 用 器 具	簡易画像探索機	2
	画像探索機	1
	地中音響探知機	1
	熱画像直視装置	1
	夜間用暗視装置	1
	電磁波探査装置	1
	地震警報機	1
そ の 他 の 救 助 用 器 具	投光器	3
	携帯投光器	7
	携帯拡声器	4
	携帯無線機	2
	応急処置用セット	2
	車両移動器具	6
	緩降機	2
	ロープ登降機	2
	救助用降下機	7
発電機	4	

通 信 施 設

平成24年4月1日現在

区 分		本 部 熊 防 谷 署	玉井 分署	江南 分署	中央 消防署	荒川 分署	大里 分署	妻沼 消防署	計	
119回線		12							12	
消防専用電話			1	1	1	1	1	1	6	
加入電話		20	3	3	5	3	3	5	42	
埼玉県衛星通信 ネットワーク		1							1	
聴覚障害者専用 FAX		1							1	
警察専用電話		1							1	
東京ガス専用電話		1							1	
市水道部		1							1	
市役所直通電話		1							1	
日本緊急通報 サービス		2							2	
テレドーム		1							1	
携帯電話		6	2	1	3		1	1	14	
市防災行政無線		1							1	
県防災行政無線		1							1	
消 防 救 急 無 線	超 短 波	基地局	1						1	
		車載局	19	6	3	8	2	3	6	47
		携帯局	14	5	2	6	1	2	4	34

119番通報受信状況

平成23年中

	119	携帯119	IP119	合計
火災	63	127	39	229
救急	3,061	2,094	1,634	6,789
救助	11	28	7	46
警戒	39	47	17	103
試験	230	66	30	326
通報訓練	481	23	122	626
間違い	175	218	60	453
いたずら	59	48	16	123
病院問合せ	369	486	284	1,139
一般問合せ	341	448	137	926
携帯転送		165		165
その他	306	479	117	902
合計	5,135	4,229	2,463	11,827

災害等自動案内装置利用状況

年 月	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
1月	9,064	4,021	6,778	12,876	9,290
2月	11,613	6,125	8,094	5,910	8,905
3月	7,817	6,775	20,862	7,391	13,024
4月	4,895	8,661	6,677	5,692	15,675
5月	4,444	7,035	8,237	6,289	9,083
6月	5,591	6,099	3,977	5,860	8,121
7月	5,982	6,975	4,965	8,714	7,658
8月	7,995	5,553	5,067	4,728	9,216
9月	3,329	4,884	6,729	6,128	9,606
10月	2,615	7,078	9,937	4,598	6,338
11月	5,798	5,046	9,772	7,354	7,092
12月	6,365	7,351	6,221	5,674	7,664
合計	75,508	75,603	97,316	81,214	111,672

消 防 水 利



消 防 水 利 状 況

平成24年4月1日現在

種別		分団		石原	荒川	上石	中央	筑波	肥塚	成田	佐谷田	久下	大幡	大麻生	
		公設	私設												
防火水槽	100㎡以上	公設		1			2						1		
		私設				1	1	4					1		
	40㎡以上 100㎡未満	公設		6	2	11	3		4	3	7	2	12	22	
		私設		13	14	22	7	27	6	15	3		20	18	
	20㎡以上 40㎡未満	公設		4	4	16			6			2		22	15
		私設		19	33	27	23	29	14	18	9	3	41	24	
掘井戸	40㎡以上	公設			2		1	1			1	2			
		私設						1							
	20㎡以上 40㎡未満	公設		7	1		16	11	5	9	13				
		私設													
	20㎡未満	公設		3	6		1		3	2	1			4	
		私設						1							
さく井式井戸	40㎡以上	公設		1	9		3	16	3	51	46	37			
		私設			3		1	16	11	38	33	13	3		
	20㎡以上 40㎡未満	公設		1	3		15	20	35	60	56	12	7		
		私設		1				3	9	13	6	2	3		
	20㎡未満	公設			10				4	4		2			
		私設								2		1			
消火栓	公設		125	150	117	135	146	124	203	106	76	139	138		
	私設														
その他			4	3		1	2		4	2	1	2	4		
合計			185	240	194	209	277	224	422	285	151	255	221		

平成24年4月1日現在

種別		分団		玉井	中条	奈良	別府	三尻	吉岡	太井	星宮	妻沼	弥藤吾	男沼	
		公設	私設												
防火水槽	100m ³ 以上	公設	1					1							
		私設						2	1						
	40m ³ 以上 100m ³ 未満	公設	24	1	2	2	46	14			1	3	2	6	
		私設	25	5	13	3	38	19	1			18	14	8	
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設	31		14	18	29	10				2			
		私設	45	4	11	8	53	16			1	4	2	3	
掘井戸	40m ³ 以上	公設		1	2				4			1		1	
		私設													
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設		8	8				1		6	12	1	6	
		私設													
	20m ³ 未満	公設		2	9	9			2		1	25	18	27	
		私設													
さく井式井戸	40m ³ 以上	公設		30	7					5	23	9	4	3	
		私設		8	3					12	4	20	4		
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設		63	29	7			1	14	4	26	12	7	
		私設		8	1	1			2	1		18	10	1	
	20m ³ 未満	公設				3			1			3	8	5	
		私設							3		1		3	1	
消火栓	公設	363	124	134	110	304	164	15	42	108	64	58			
	私設									2					
その他			5	2	2	2	3	3		1	2	2	1		
合計			494	256	235	163	476	241	48	84	253	144	127		

平成24年4月1日現在

種別		分団		小島	太田	長井	秦	大里中央	大里北	大里南	江南中央	江南北	江南南	合計	
		公設	私設												
防火水槽	100m ³ 以上	公設													6
		私設									2				12
	40m ³ 以上 100m ³ 未満	公設	1	8	9	2		2	11	13	4	7			230
		私設		6	33	6	1	3	8	24	5	7			382
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設		1	2			10	15	29	15	23	17		285
		私設		2	3	2	1	1	4	21	3	5			429
掘井戸	40m ³ 以上	公設							4						20
		私設													1
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設		2	4	8		1							119
		私設													
	20m ³ 未満	公設	12	36	43	38		2							244
		私設													1
さく井式井戸	40m ³ 以上	公設		4	11	4	7	16	6						295
		私設		3	12	1	1	1							187
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設	9	28	29	31	5	16	11						501
		私設		15	26	4			1						125
	20m ³ 未満	公設	2	5	16		4	15	5						87
		私設		6	11	1		1	1						31
消火栓	公設	13	85	106	64	16	50	86	181	111	117			3,774	
	私設			1								3		6	
その他			1	1	1	1	1	2	2	1	1	1		58	
合計			38	202	307	162	46	129	164	257	147	157		6,793	

署 別 消 防 水 利 状 況

成 2 4 年 4 月 1 日 現 在

種別		署	熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	荒川分署	大里分署	妻沼消防署	合計
防火水槽	100m ³ 以上	公設	1	2		3				6
		私設	2	2	2	5	1			12
	40m ³ 以上 100m ³ 未満	公設	45	72	24	27	18	13	31	230
		私設	73	66	36	73	37	12	85	382
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設	62	78	55	12	19	54	5	285
		私設	102	106	29	115	55	6	16	429
掘井戸	40m ³ 以上	公設	3			2	9	4	2	20
		私設				1				1
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設	17			64	4	1	33	119
		私設								
	20m ³ 未満	公設	15	9		10	9	2	199	244
		私設				1				1
さく井式井戸	40m ³ 以上	公設	38			141	52	29	35	295
		私設	16			111	18	2	40	187
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	公設	101	7		199	20	32	142	501
		私設	14	1		32	3	1	74	125
	20m ³ 未満	公設		3		8	13	24	39	87
		私設				3	4	2	22	31
消火栓	公設	600	777	409	919	419	152	498	3,774	
	私設			3				3	6	
その他			10	10	3	14	7	5	9	58
合計			1,099	1,133	561	1,740	688	339	1,233	6,793

火災予防



防 火 対 象 物 数

平成24年4月1日現在(検査実施対象物数は23年度中)

用 途 別	防 火 対 象 物		
	令第6条該当対象物	検査を要する対象物	検査実施対象物
(1) 劇場、映画館、集会場の類	86	54	1
(2) キャバレー、遊技場の類	32	22	
(3) 料理店、飲食店の類	148	51	
(4) 百貨店、マーケットの類	280	165	1
(5) 旅館、共同住宅の類	1,698	805	3
(6) 病院、幼稚園の類	336	216	7
(7) 小、中、高、大学、各種学校の類	238	223	1
(8) 図書館、博物館の類	7	6	
(9) 公衆浴場、特殊浴場の類	7	4	
(10) 車両の駐車場の類	2	2	
(11) 社寺、教会の類	56	43	
(12) 工場、作業場の類	743	571	2
(13) 自動車車庫、駐車場の類	49	37	
(14) 倉 庫	664	450	1
(15) 前各号に該当しない事業場	755	654	1
(16) 複合用途防火対象物	590	472	7
(16の2) 地 下 街			
(17) 重要文化財、重要民族資料等	5		
(18) ア ー ケ ー ド			
(19) 山 林			
(20) 舟 車			
合 計	5,696	3,775	24

消 防 同 意 件 数

平成23年度中

工 事 別 用 途	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他	計
劇場、映画館、集会場の類	3								3
キャバレー、遊技場の類									
料理店、飲食店の類	1								1
百貨店、マーケットの類	9	2							11
旅館、共同住宅の類	33								33
病院、福祉施設、幼稚園の類	13	5	1				1		20
小、中、高、大学 各種学校の類	4								4
図書館、博物館の類									
公衆浴場、特殊浴場の類									
車両の駐車場の類									
社寺、教会の類	2								2
工場、作業場の類	16								16
自動車車庫、駐車場									
倉庫	4		1						5
前各号に該当しない事業場	28								28
複 合 用 途	7	1		1			1		10
重要文化財の類									
専用住宅	29								29
危険物製造所等									
建築設備									
そ の 他	87	2							89
計	236	10	2	1			2		251

危険物製造所等施設数

平成24年4月1日現在

製造所等の別		対象施設数	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在
製造所		6				3			3
貯蔵所	屋内貯蔵所	114	1			104	1		8
	屋外タンク貯蔵所	102				102			
	屋内タンク貯蔵所	15				15			
	地下タンク貯蔵所	179				179			
	簡易タンク貯蔵所	2				2			
	移動タンク貯蔵所	41				41			
	屋外貯蔵所	28				28			
取扱所	給油取扱所	営業用	64			64			
		セルフ	14			14			
		自家用	76			76			
	第1種販売取扱所	4			4				
	第2種販売取扱所								
	移送取扱所								
	一般取扱所	123				119			4
	計		754	1			737	1	

指定数量の倍数別危険物製造所等施設数

平成24年4月1日現在

施設区分		倍 数								合 計
		5 倍以下	5 倍を超え 10 倍以下	10 倍を超え 50 倍以下	50 倍を超え 100 倍以下	100 倍を超え 150 倍以下	150 倍を超え 200 倍以下	200 倍を超え 1000 倍以下	1000 倍を超え 5000 倍以下	
製 造 所			4	1	1					6
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	65	19	22	4	2	1	1		114
	屋外タンク貯蔵所	38	24	23	9	2	2	4		102
	屋内タンク貯蔵所	12	3							15
	地下タンク貯蔵所	88	43	33	10	1	3	1		179
	簡易タンク貯蔵所	2								2
	移動タンク貯蔵所	25	1	6	8		1			41
	屋外貯蔵所	9	6	10	1	2				28
	計	239	100	95	33	7	7	6		487
取 扱 所	給 油	営業用			16	11	14	23		64
		セルフ					1	13		14
	取 扱 所	自家用	6	19	43	7	1			76
		第1種販売取扱所	1	2	1					4
	第2種販売取扱所									
	一般取扱所	43	43	24	5	1	2	5		123
	計	50	64	68	28	13	16	28		267
合 計		289	164	163	61	20	23	34		754

防火対象物別消防訓練実施状況(法第8条)

平成23年度中

用 途 別	実 施 数	参 加 人 員
(1) 劇場、映画館、集会場の類	38	873
(2) キャバレー、遊技場の類	13	80
(3) 料理店、飲食店の類	48	283
(4) 百貨店、マーケットの類	105	1,370
(5) 旅館、共同住宅の類	20	424
(6) 病院、幼稚園の類	282	21,364
(7) 小、中、高、大学、各種学校の類	45	18,942
(8) 図書館、博物館の類	5	117
(9) 公衆浴場、特殊浴場の類	2	35
(10) 車両の停車場の類		
(11) 社寺、教会の類	2	275
(12) 工場、作業場の類	30	4,040
(13) 自動車車庫、駐車場		
(14) 倉庫	7	213
(15) 前各号に該当しない事業場	39	1,631
(16) 複合用途防火対象物	183	11,109
(16の2) 地下街		
(17) 重要文化財、重要民族資料等	1	70
(18) アケド		
(19) 山林		
(20) 舟車		
合 計	820	60,826

火 災

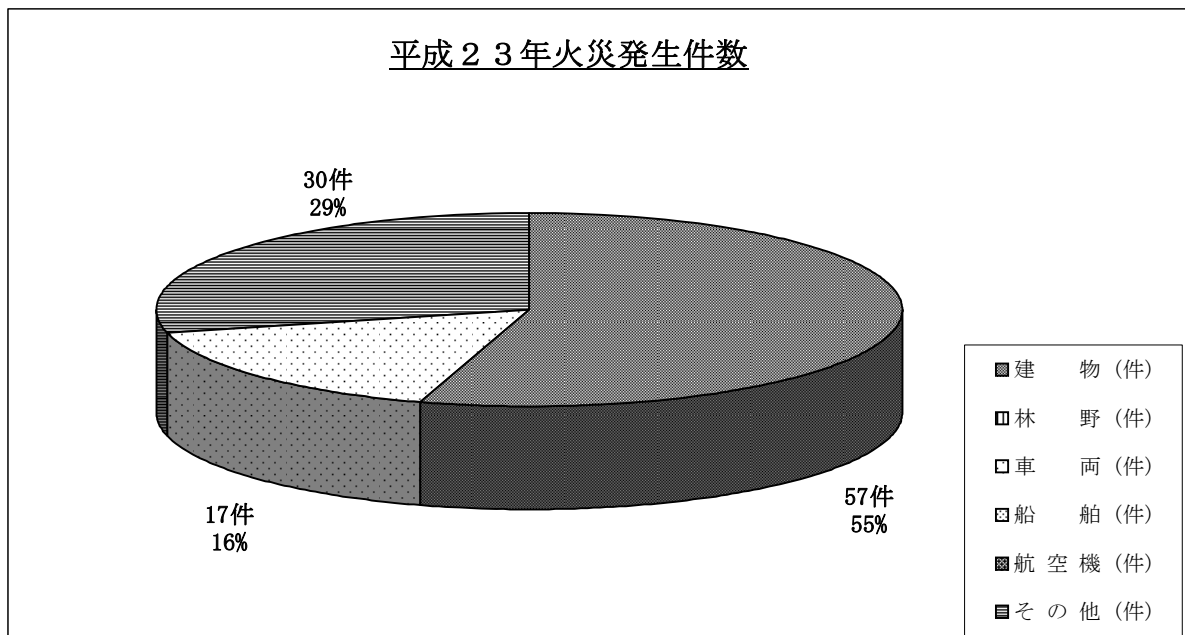


火災の発生状況

年別比較		平成23年 (A)	平成22年 (B)	増 減 (A)-(B)
区分				
火災件数	(件)	104	73	31
建物	(件)	57	45	12
林野	(件)			
車両	(件)	17	8	9
船舶	(件)			
航空機	(件)			
その他	(件)	30	20	10
建物焼損床面積	(㎡)	3,392	1,525	1,867
建物焼損表面積	(㎡)	136	80	56
林野焼損面積	(a)			
車両等焼損数	(数)	43	10	33
損害額	(千円)	209,952	133,921	76,031
焼損棟数	(棟)	102	55	47
り災世帯数	(世帯)	47	27	20
り災人員	(人)	125	72	53
死者	(人)	2	5	△ 3
65歳以上の死者	(人)		1	△ 1
負傷者	(人)	21	7	14
30日死者	(人)			
出火率		5.1	3.5	1.6

※ △は減少を示す。

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱ってます。



月別火災発生状況

平成23年中

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数(件)	14	6	12	12	7	8	6	6	7	7	11	8	104
建物	8	1	8	7	5	4	4	3	5	1	8	3	57
林 野													
車 両	2	2	2	1	2	2		1	2	1		2	17
船 舶													
航空機													
その他	4	3	2	4		2	2	2		5	3	3	30
焼損棟数(棟)	10	3	15	15	8	17	4	6	10	2	9	3	102
全 焼	1	2	7	7	2	6			2	1	3		31
半 焼	1		1	2	3		2	2					11
部分焼	5	1	6	2	2	1	2	1	3				23
ぼ や	3		1	4	1	10		3	5	1	6	3	37
死傷者(人)	1	1	2	3	1	2	2	4	2	1	2	2	23
死 者			1					1					2
負傷者	1	1	1	3	1	2	2	3	2	1	2	2	21
(30日死者)													
り災世帯(世帯)	3	1	5	5	2	8	3	3	8		6	3	47
全 損		1	1	1					3		2		8
半 損	1		1	1			2	2					7
小 損	2		3	3	2	8	1	1	5		4	3	32
り災人員(人)	7	2	10	12	5	27	11	12	18		12	9	125
建物焼損床面積(m ²)	138	140	354	435	215	601	186	81	258	778	206		3,392
建物焼損表面積(m ²)	49	6	44	1	19			9	7		1		136
林野焼損面積(a)													
車両等焼損面積(数)	2	2	15	8	3	4	1	1	4	1		2	43
損害額(千円)	6,233	5,911	6,353	9,178	19,943	24,406	24,955	8,922	8,017	84,995	10,891	148	209,952
建物													
建築物	1,975	2,387	4,955	8,043	14,389	8,239	21,032	7,173	4,402	65,464	10,225	4	148,288
収容物	4,132	364	897	767	5,389	15,730	3,622	1,181	3,104	17,260	661	4	53,111
林 野													
車 両	122	3,154	492	271	165	437	300	473	350	6		107	5,877
船 舶													
航空機													
その他	4	6	9	97			1	95	161	2,265	5	33	2,676
爆発													

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

署別火災発生状況

平成23年中

区 分	熊谷 消防署	玉井 分署	江南 分署	中央 消防署	荒川 分署	大里 分署	妻沼 消防署	合計	前年 合計	増減数
火災件数(件)	24	22	5	27	8	5	13	104	73	31
建物	10	11	4	17	5	1	9	57	45	12
林 野										
車 両	8	1		4		2	2	17	8	9
船 舶										
航空機										
その他	6	10	1	6	3	2	2	30	20	10
焼損棟数(棟)	26	23	7	17	7	1	21	102	55	47
全 焼	7	9	3	1	1		10	31	12	19
半 焼	3	2		2	2		2	11	6	5
部分焼	2	4	3	4	2		8	23	15	8
ぼ や	14	8	1	10	2	1	1	37	22	15
死傷者(人)	10	3	1	6			3	23	12	11
死 者	1			1				2	5	△ 3
負傷者	9	3	1	5			3	21	7	14
(30日死者)										
り災世帯(世帯)	16	8	3	10	5		5	47	27	20
全 損	1		1		3		3	8	8	
半 損	4			2	1			7	4	3
小 損	11	8	2	8	1		2	32	15	17
り災人員(人)	52	22	7	25	8		11	125	72	53
建物焼損床面積(m ²)	821	1,174	222	63	413		699	3,392	1,525	1,867
建物焼損表面積(m ²)	1	32	14	21	6	1	61	136	80	56
林野焼損面積(a)										
車両等焼損面積(数)	19	5	4	5	2	2	6	43	10	33
損害額(千円)	55,559	100,023	4,617	5,469	31,196	51	13,037	209,952	133,921	76,031
建物										
建築物	30,447	74,322	4,098	4,521	23,686	12	11,202	148,288	107,572	40,716
収容物	18,469	25,118	480	492	7,141		1,411	53,111	22,176	30,935
林 野										
車 両	4,357	359		393	320	32	416	5,877	3,601	2,276
船 舶										
航空機										
その他	2,286	224	39	63	49	7	8	2,676	572	2,104
爆発										

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

分団別火災発生状況

平成23年中

月別 分団別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
石原	3	2											5
荒川	2				1		1						4
上石				1				1					2
中央			1					1			3	1	6
筑波				2					2				4
肥塚	1	1	1	1					1			3	8
成田	1	1	1		1	1				1			6
佐谷田													
久下													
大幡	3					2		1		2	1		9
大麻生				2	1	1	1		1				6
玉井				1	1					3	3	3	11
中条				1		1					1		3
奈良			1			1	1						3
別府				1									1
三尻	1			1	1	1	2	1	1	1	1		10
吉岡								1	1				2
太井													
星宮			2										2
妻沼													
弥藤吾	1												1
男沼													
小島											1		1
太田							1						1
長井	1	1	2		1	1							6
秦		1	2						1				4
大里中央													
大里北				1							1		2
大里南	1											1	2
江南中央				1									1
江南北					1								1
江南南			2					1					3
合計	14	6	12	12	7	8	6	6	7	7	11	8	104

月別、時刻別火災発生件数

平成23年中

時刻 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
0-1		1			1	1	1			1		1	6
1-2											1	1	2
2-3			2		1	1				1			5
3-4	1										1		2
4-5	1												1
5-6							1						1
6-7	1				1			1			1		4
7-8				1			1						2
8-9	1								1				2
9-10			2	1				1	1				5
10-11	2	1		1	2	1				1		1	9
11-12	4	1	1										6
12-13		1	1	2		1					1	1	7
13-14			1						1				2
14-15	1	1	2	2	1	1	1	1					10
15-16		1	2	1									4
16-17				1		1			1		1		4
17-18	1		1			2							4
18-19				1			1	1		1		1	5
19-20								1	1	2	1		5
20-21				1	1				1			2	5
21-22							1		1				2
22-23				1							1		2
23-24											1		1
不明	2							1		1	3	1	8
合計	14	6	12	12	7	8	6	6	7	7	11	8	104

損害額及び焼損床面積区分による火災件数

平成23年中

損害見積額区分	件数	焼損床面積区分	件数
1万円未満	45	3.3㎡未満	29
1万円以上 50万円未満	32	3.3㎡以上 50㎡未満	11
50万円以上 100万円未満	4	50㎡以上 100㎡未満	7
100万円以上 200万円未満	5	100㎡以上 200㎡未満	5
200万円以上 300万円未満	3	200㎡以上 300㎡未満	3
300万円以上 400万円未満	6	300㎡以上 400㎡未満	
400万円以上 500万円未満	1	400㎡以上 500㎡未満	
500万円以上 600万円未満		500㎡以上 600㎡未満	1
600万円以上 700万円未満	1	600㎡以上 700㎡未満	
700万円以上 800万円未満	1	700㎡以上 800㎡未満	1
800万円以上 900万円未満	2	800㎡以上 900㎡未満	
900万円以上 1,000万円未満	1	900㎡以上 1,000㎡未満	
1,000万円以上 1,500万円未満		1,000㎡以上	
1,500万円以上	3	(林野、車両、その他)	47
合 計	104	合 計	104

* 焼損表面積については、含まないものとする。

出火原因別火災件数

年別比較 区分	平成23年 (A)	平成22年 (B)	増 減 (A)-(B)
たばこ	8	5	3
こんろ	8	4	4
かまど			
風呂かまど	2		2
炉			
焼却炉			
ストーブ	2	3	△ 1
こたつ			
ボイラー			
煙突・煙道	1	1	
排気管	4		4
電気機器	1	2	△ 1
電気装置	1	2	△ 1
電灯・電話等の配線	3	1	2
内燃機関	1	1	
配線器具	1	2	△ 1
火遊び	4	1	3
マッチ・ライター	1	1	
焚き火	2	3	△ 1
溶接機・溶断機	2	2	
灯 火	1		1
衝突の火花			
取 灰	1		1
火 入 れ	5	1	4
放 火	24	19	5
放火の疑い	2	6	△ 4
そ の 他	19	12	7
不明・調査中	11	7	4
合 計	104	73	31

※ △は減少を示す。

※ 出火原因区分は、火災報告取扱要領国表03表による

曜日別火災発生状況

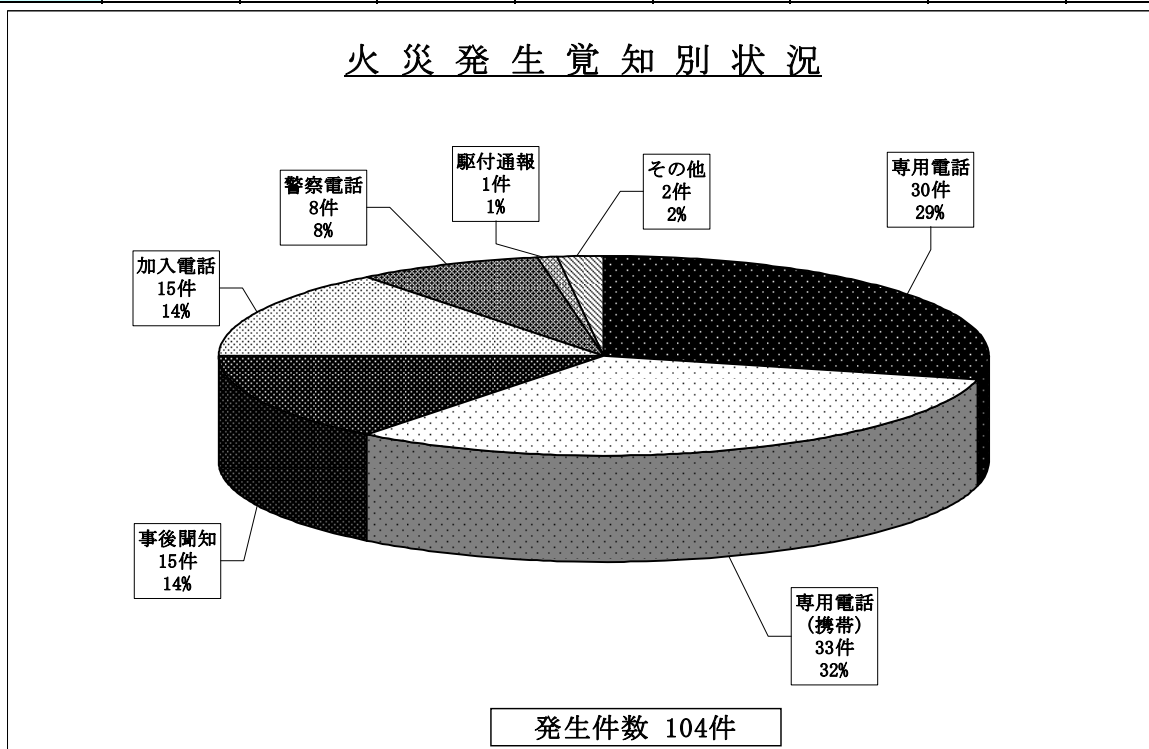
種別 曜日	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合 計
日 曜 日	6		1			1	8
月 曜 日	5		1			1	7
火 曜 日	6		3			4	13
水 曜 日	10		3			8	21
木 曜 日	8		3			2	13
金 曜 日	5		3			4	12
土 曜 日	16		3			5	24
不 明	1					5	6
合 計	57		17			30	104

時間別火災発生状況

種別 時刻	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合 計
0 ~ 1	3		1			2	6
1 ~ 2	2						2
2 ~ 3	3		1			1	5
3 ~ 4	2						2
4 ~ 5			1				1
5 ~ 6						1	1
6 ~ 7	3					1	4
7 ~ 8	2						2
8 ~ 9	2						2
9 ~ 10	2		2			1	5
10 ~ 11	5		3			1	9
11 ~ 12	3		2			1	6
12 ~ 13	4		1			2	7
13 ~ 14	1		1				2
14 ~ 15	5					5	10
15 ~ 16	3		1				4
16 ~ 17	4						4
17 ~ 18	2		1			1	4
18 ~ 19			1			4	5
19 ~ 20	2		1			2	5
20 ~ 21	3		1			1	5
21 ~ 22	2						2
22 ~ 23						2	2
23 ~ 24	1						1
不 明	3					5	8
合 計	57		17			30	104

火災発生覚知別状況

区分 月別	専用電話	専用電話 (携帯)	事後聞知	加入電話	警察電話	駆付通報	その他	合 計
1月	4	2	3	3	2			14
2月	1	3		1	1			6
3月	5	1		4	1		1	12
4月	5	3		3	1			12
5月	2	2	1	2				7
6月	1	6	1					8
7月	2	1	1	1	1			6
8月	1	4					1	6
9月	3	3	1					7
10月	3	1	2	1				7
11月	1	3	4		2	1		11
12月	2	4	2					8
合 計	30	33	15	15	8	1	2	104



主なる火災（損害額1,000万円以上の火災）

月 日	所 在 地	用 途	焼損床・表面積 (㎡)	損害額 (千円)
6月4日	熊谷市原島地内	作業場	床590㎡	22,956千円
7月16日	熊谷市瀬南地内	専用住宅	床116㎡	15,375千円
10月16日	熊谷市三ヶ尻地内	置場	床778㎡	82,724千円

死者を伴った火災

月 日	入電時間	所 在 地	火災種別	死者数 (死者・30日死者)
3月13日	11時44分	熊谷市上川上地内	建物火災	死者1名
8月26日	18時46分	熊谷市新島地内	車両火災	〃

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者「死者」、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱ってます。

救急・救助



事故種別出動状況等

平成23年中

種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年 合計	増減 数
	出動件数		709	600	684	646	613	634	729	784	654	679	690	791	8,213	7,988
救急事故種別件数	火災	9	5	11	10	7	5	7	9	8	3	6	9	89	42	47
	自然															
	水難	1								1				2	4	△ 2
	交通	80	69	71	73	82	71	87	84	86	100	85	118	1,006	1,059	△ 53
	労災	8	9	2	11	11	10	15	17	11	12	14	6	126	106	20
	運動	2	3	2	4	11	12	8	10	9	12	12	14	99	116	△ 17
	一般	82	67	77	81	74	69	79	89	90	79	86	101	974	926	48
	加害	4	3	8	7	6	8	7	4	4	4	9	6	70	75	△ 5
	自損	5	9	9	10	12	6	10	9	16	5	8	9	108	141	△ 33
	急病	460	383	446	381	354	379	439	488	377	398	397	458	4,960	4,785	175
	その他	58	52	58	69	56	74	77	74	52	66	73	70	779	734	45
傷病者搬送件数	618	529	585	573	544	569	639	700	569	605	599	692	7,222	7,255	△ 33	
不搬送件数	91	71	99	73	69	65	90	84	85	74	91	99	991	733	258	
医師器材搬送件数																
搬送人員	男	330	286	321	321	310	336	354	360	307	330	358	384	3,997	3,995	2
	女	297	250	272	265	249	247	293	352	271	290	248	321	3,355	3,385	△ 30
	計	627	536	593	586	559	583	647	712	578	620	606	705	7,352	7,380	△ 28

事故種別署別出動状況

平成23年中

種別		署別							合計
		熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	荒川分署	大里分署	妻沼消防署	
出動件数		1,653	1,406	748	2,784		706	916	8,213
救急事故種別件数	火災	17	16	8	28		4	16	89
	自然								
	水難	1						1	2
	交通	237	177	86	321		94	91	1,006
	労災	11	31	11	40		12	21	126
	運動	31	14	10	33		7	4	99
	一般	189	178	104	333		64	106	974
	加害	18	8	3	33		1	7	70
	自損	15	20	7	40		15	11	108
	急病	999	843	459	1,603		430	626	4,960
	その他	135	119	60	353		79	33	779
傷病者搬送件数		1,505	1,247	687	2,346		623	814	7,222
不搬送件数		148	159	61	438		83	102	991
医師器材搬送件数									
搬送人員(人)	男	841	699	395	1,275		321	466	3,997
	女	701	569	302	1,108		313	362	3,355
	計	1,542	1,268	697	2,383		634	828	7,352

事故種別時刻別搬送人員

平成23年中（単位：人）

時刻 事故種別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
火災	1			3	2	4	3	2	4	1	1		21
自然													
水難													
交通	41	18	31	78	117	139	103	106	139	116	75	45	1,008
労災	3	1	3	3	16	26	17	24	13	10	5	2	123
運動				2	10	21	28	21	13	5	3		103
一般	34	22	17	57	104	117	101	98	102	114	74	53	893
加害	11	3	2	2	1	5	1	4	3	10	11	6	59
自損	2	1	1	2	9	6	6	9	9	12	10	10	77
急病	276	210	217	368	472	449	417	421	424	453	411	320	4,438
その他	15	4	3	6	78	134	125	90	88	43	30	14	630
合計	383	259	274	521	809	901	801	775	795	764	620	450	7,352

事故種別傷病程度別搬送人員

平成23年中（単位：人）

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
火 災		1	1	19		21
自 然						
水 難						
交 通	2	46	129	831		1,008
労 災	1	14	33	75		123
運 動		1	23	79		103
一 般	10	93	222	568		893
加 害		2	9	48		59
自 損	7	3	33	34		77
急 病	133	555	1,608	2,142		4,438
その他		179	407	44		630
合 計	153	894	2,465	3,840		7,352

救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況

平成23年中（単位：人）

区分 種別		救急告示医療機関	その他の医療機関	合計	前年計	増減数 △は減
		男女別	男	3,534	463	3,997
	女	3,035	320	3,355	3,385	△ 30
	計	6,569	783	7,352	7,380	△ 28
事故種別	急病	3,916	522	4,438	4,420	18
	交通	987	21	1,008	1,090	△ 82
	一般負傷	852	41	893	862	31
	その他	814	199	1,013	1,008	5
	計	6,569	783	7,352	7,380	△ 28
傷病程度別	死亡	141	12	153	179	△ 26
	重症	737	157	894	865	29
	中等症	2,120	345	2,465	2,652	△ 187
	軽症	3,571	269	3,840	3,684	156
	その他					
	計	6,569	783	7,352	7,380	△ 28

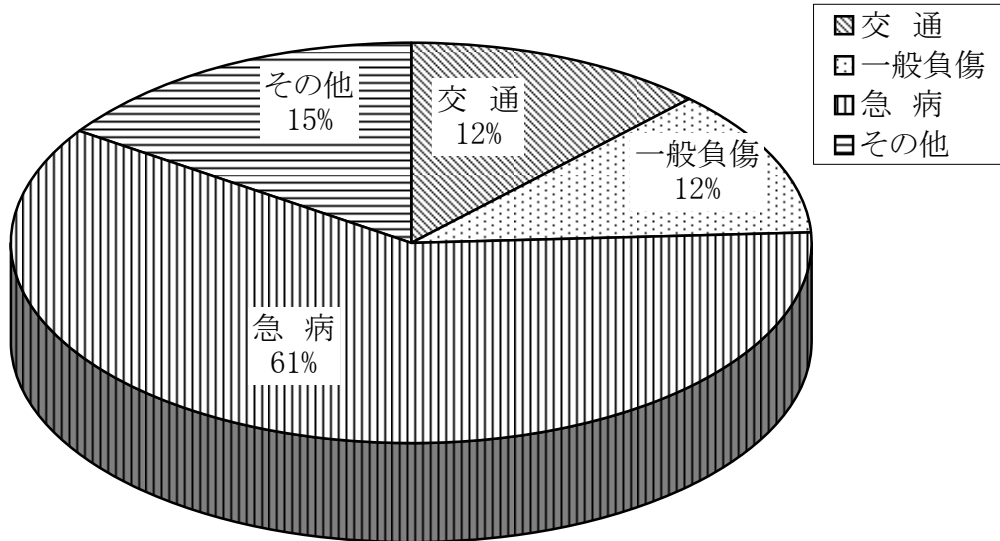
救 急 告 示 医 療 機 関 （ 熊 谷 市 ）		
名 称	認 定 日	告 示
熊谷外科病院	H24.2.28	H24. 3.2告示第 216号
埼玉慈恵病院	H22.12.17	H23.1.28告示第133号
熊谷総合病院	H22.12.17	H23.1.28告示第133号
関東脳神経外科病院	H22.12.17	H23.1.28告示第133号
熊谷生協病院	H22. 9. 3	H22. 9. 10告示第1218号

傷 病 程 度 （救急事故等報告要領に基づく）	
重 症	3週間以上の入院加療を必要とするもの。
中 等 症	重症又は軽症以外のもの。
軽 症	入院加療を必要としないもの。
死 亡	初診時において、死亡が確認されたもの。
その他	医師の診断がないもの又は搬送先が医療機関ではない場所へ搬送されたもの。

事故種別出動件数

	交通	一般負傷	急病	その他	合計
出動件数	1,006	974	4,960	1,273	8,213

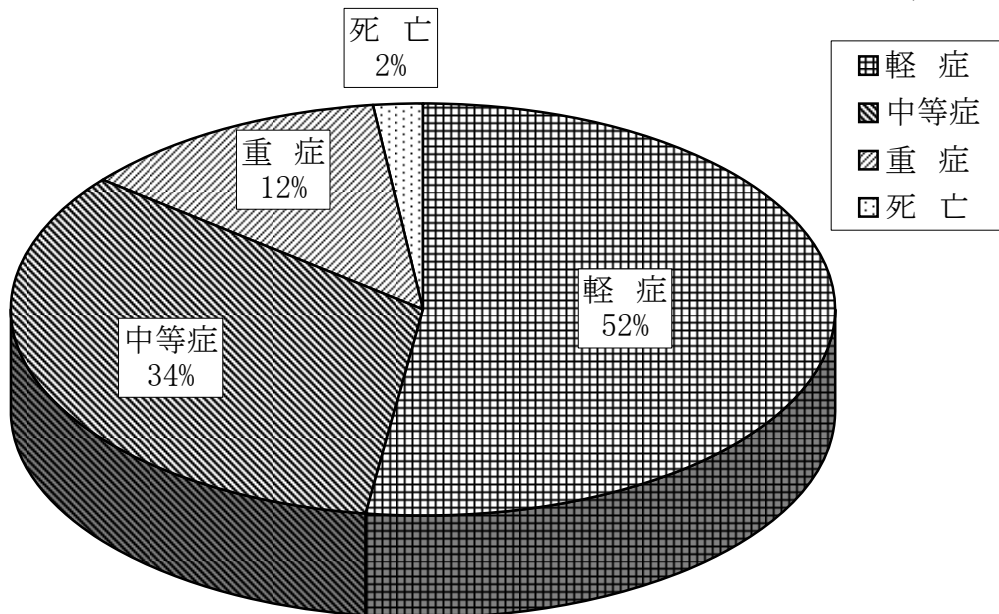
単位:件



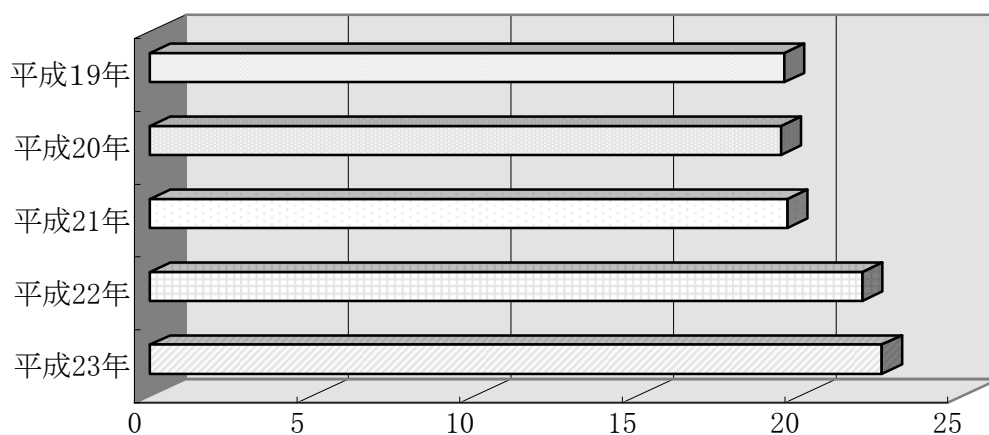
程度別搬送人員

	軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
搬送人員	3,840	2,465	894	153	0	7,352

単位:人



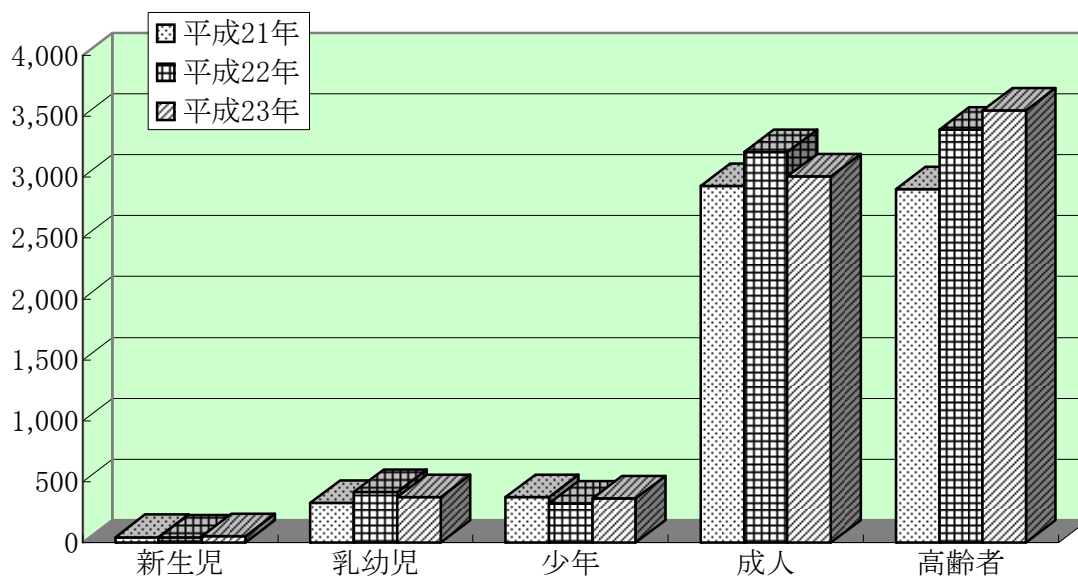
一日平均救急出動件数の年別比較



	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
出動件数	19.5	19.4	19.6	21.9	22.5

単位:件

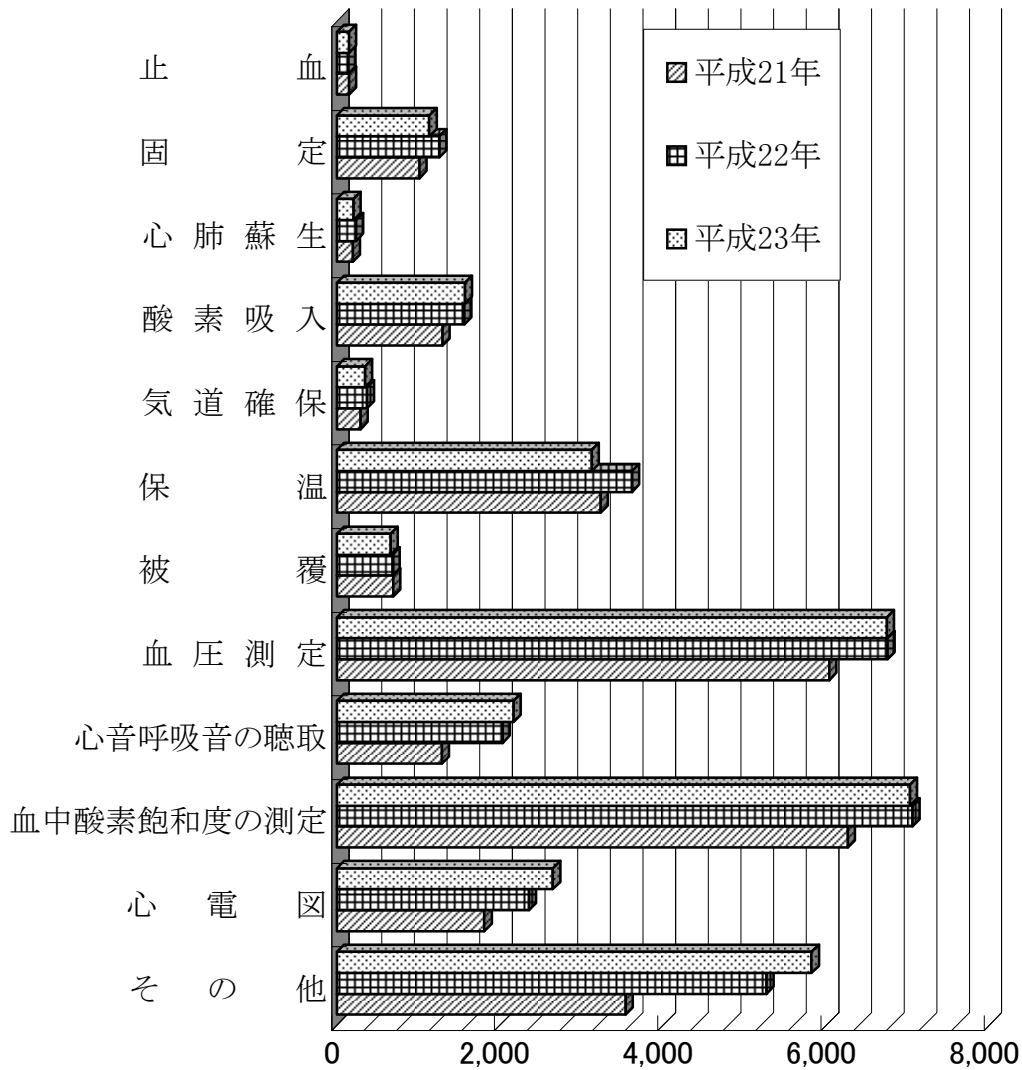
年齢区分別搬送人員



年齢別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
	生後29日未	生後29日以上未	満7歳以上未	満18歳以上未	満65歳以上未	
平成21年	47	327	377	2,926	2,902	6,579
平成22年	45	419	325	3,203	3,388	7,380
平成23年	57	375	366	3,006	3,548	7,352

単位:人

救急隊員の行った応急処置件数

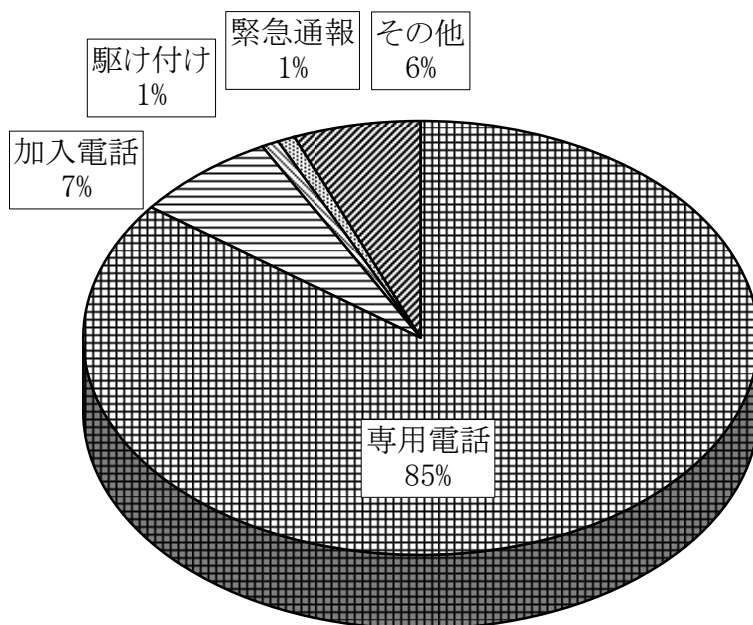


	平成21年	平成22年	平成23年
止血	150	144	151
固定	1,012	1,258	1,135
心肺蘇生	194	234	204
酸素吸入	1,297	1,563	1,573
気道確保	293	371	345
保温	3,235	3,620	3,128
被覆	690	683	662
血圧測定	6,037	6,753	6,746
心音呼吸音の聴取	1,286	2,032	2,165
血中酸素飽和度の測定	6,262	7,060	7,028
心電図	1,810	2,357	2,650
その他	3,541	5,265	5,821

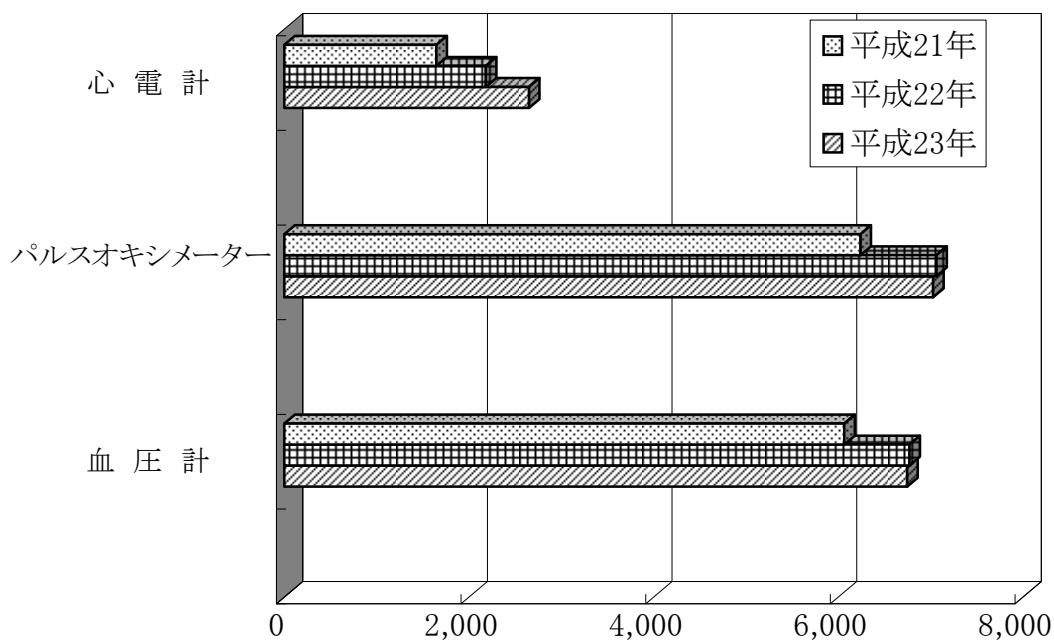
単位:件

救急事故覚知別状況

覚知別	専用電話	加入電話	駆け付け	緊急通報	その他	合計
回数	6,993	570	81	56	513	8,213



医療資器材の使用状況



	血圧計	パルスオキシメーター	心電計
平成21年	6,065	6,241	1,647
平成22年	6,771	7,063	2,183
平成23年	6,746	7,028	2,650

救 助 統 計

	平成23年			平成22年			出動件数 増 減
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	
総 数	176	117	51	113	79	57	63
火 災	63	63	0	32	32	5	31
交通事故	43	25	28	40	24	29	3
水難事故	2	2	2	4	2	2	△2
風水害等 自然災害							0
機械によ る事故	3	2	2	3	2	7	0
建物等によ る事故	9	7	7	9	9	7	0
ガス及び 酸欠事故	3	3	2	5	3	1	△2
爆発事故							0
その他	53	15	10	20	7	6	33

- ※ 1 出動件数とは、救助隊が救助を目的として出動した件数をいう。
 2 活動件数とは、救助隊が要救助者を救出するために活動した件数をいう。
 3 救助人員とは、救助隊により救出された人員をいう。

月別救助出動件数

平成23年中

区分		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災	出動	9	3	12	8	6	4	3	4	5	2	4	3	63
	活動	9	3	12	8	6	4	3	4	5	2	4	3	63
	救助人員													0
交通	出動	7	6	3	3	1	2	2	3	5	4	3	4	43
	活動	4	4		2	1	1	2	3	2	2	2	2	25
	救助人員	4	5		2	2		3	3	2	2	2	3	28
水難	出動	1								1				2
	活動	1								1				2
	救助人員	1								1				2
自然災害	出動													0
	活動													0
	救助人員													0
機械	出動			2		1								3
	活動			2										2
	救助人員			2										2
建物	出動	1	2				1		1	1	1		2	9
	活動	1	1				1		1	1			2	7
	救助人員	1	1				1		1	1			2	7
ガス	出動				1	1		1						3
	活動				1	1		1						3
	救助人員				1			1						2
爆発	出動													0
	活動													0
	救助人員													0
その他	出動	1	4	5	4	5	5	7	8	1	4	2	7	53
	活動	1	1	1	3	2	2	2	1			1	1	15
	救助人員		1	1	2	2	2	1	1					10
合計	出動	19	15	22	16	14	12	13	16	13	11	9	16	176
	活動	16	9	15	14	10	8	8	9	9	4	7	8	117
	救助人員	6	7	3	5	4	3	5	5	4	2	2	5	51

事故種別発生場所別活動件数

平成23年中

事故種別 発生場所		火 災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠 事故	爆発 事故	その他	計
		建物	建物 以外									
屋 内	住 居	21						5			6	32
	その他の屋内	23					2	1				26
屋 外	道 路											0
	高速自動車・国道											0
	その他の道路		6	24					1		1	32
	水 面				2						1	3
	内 水 面				2						1	3
	外 水 面											0
山 岳												0
その他の屋外	3	10	1					1	2		5	22
地 下												0
そ の 他											2	2
計		47	16	25	2	0	2	7	3	0	15	117

※ 「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

事故種別出動車両等台数

平成23年中

事故種別 車 両		火 災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠 事故	爆発 事故	その他	計	
		建物	建物 以外										
出 動 車 両	救助工作車	48	16	44	2		2	9	4		52	177	
	消防ポンプ自動車	198	31	43	3		3	7	4		105	394	
	はしご車	4									6	10	
	化学車	12	1	1							6	20	
	指揮車	46	14	36	2		1	3	3		37	142	
	救急自動車	50	15	60	2		2	8	3		48	188	
	船舶												0
	ヘリコプター												0
	その他	6		2	2				1		2	2	13
	消防団車両	254	6		1						7	7	268
計		618	83	186	12	0	8	27	15	0	263	1212	

※ 1 事故種別ごとに、救助活動のために出動した車両の台数について記載。

2 「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

消 防 団



消防団車庫一覽表

熊谷市消防団

平成24年4月1日現在

分 団 名	所 在 地	構 造	延面積(m ²)	建築年月
団本部 小隊	宮町1丁目121	車庫鉄骨スレート平屋建 待機室 木造平屋建	18.00 26.50	S53.10 H2.3
石 原 分団	本石2丁目53	鉄骨造陸屋根二階建	142.71	S48.12
荒 川 〃	宮前1丁目106			荒川分署内
上 石 〃	石原932-2	鉄筋コンクリート二階建	75.19	S53.7
中 央 〃	宮町1丁目121	〃	47.02	S42.3
筑 波 〃	筑波1丁目69	〃	244.49	S54.10
肥 塚 〃	肥塚1丁目2番15号	鉄筋コンクリート平屋建	74.39	S60.3
成 田 〃	上之806-1	鉄筋コンクリート一部木 造瓦葺平屋建	87.99	S50.3
佐谷田 〃	佐谷田371-17	鉄筋コンクリート平屋建	71.78	S59.3
久 下 〃	久下1430	〃	52.99	S49.3
大 幡 〃	代585-1	〃	〃	S48.3
大麻生 〃	大麻生1097	〃	〃	S42.2
玉 井 〃	新堀319-2			玉井分署内
中 条 〃	上中条814-2	鉄筋コンクリート平屋建	71.78	S59.3
奈 良 〃	下奈良561-15	〃	〃	S57.3
別 府 〃	西別府2047	〃	73.27	S52.3
三 尻 〃	三ヶ尻2750-2	〃	72.33	S54.8
吉 岡 〃	万吉2164	〃	71.78	H4.2
太 井 〃	太井1949-1	〃	179.43	S55.3
星 宮 〃	下川上17-2	〃	52.99	S45.3

熊谷市消防団

平成24年4月1日現在

分 団 名	所 在 地	構 造	延面積(m ²)	建築年月
妻 沼 分 団	妻沼1547-3	鉄骨造平屋建	87.19	H10.2
弥 藤 吾 分 団	弥藤吾1800-1	〃	72.90	H 3.3
男 沼 分 団	男沼118	〃	72.90	H 2.3
小 島 分 団	妻沼小島2357-1	鉄筋コンクリート造平屋建	58.32	S62.3
太 田 分 団	飯塚1395	鉄骨造平屋建	72.90	H 1.3
長 井 分 団	江波363	〃	72.90	H 2.3
秦 分 団	葛和田1135-3	〃	72.90	H 2.11
大 里 中 央 分 団	中曽根643-1	木造垂鉛葺平屋建	23.10	S63.3
大 里 北 分 団	中曽根232-1	鉄骨造平屋建	56.70	H 9.3
大 里 南 分 団	相上1654-7	〃	56.70	H 5.3
江 南 中 央 分 団	江南中央1丁目1	鉄骨造平屋建	61.20	H19.2
江 南 北 分 団	成沢465-1	鉄骨鉄板造スレート葺平屋建	46.45	S60.3
江 南 南 分 団	小江川1931-1	鉄骨造平屋建	54.78	H 2.3

消防ポンプ自動車等性能一覧表

平成24年4月1日現在

分 団 別	車 種	車名・型式	艀装会社	年式	使用 年数	総排気 量(CC)	ポンプ 型式	備 考
団本部 小 隊	多機能車	イスズ BKG-NHS85A	(株)モリタ	H22	2	2,990		無線傍受機付、エアコン付 小型動力ポンプ
団本部 女性小隊	広 報 車	ホンダ DBA-RG1	ホンダカーズ	H20	4	1,990		無線傍受機付、エアコン付 カーナビ、軽可搬ポンプ
石 原分団	普通消防 ポンプ自動車	イスズ PB-NKR81N	(株)ネイチャー	H18	6	4,770	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
荒 川分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ KK-XZU331M	日本エレ ファント	H12	12	4,897	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
上 石分団	普通消防 ポンプ自動車	ニッサン KK-AKR71GN	日本エレ ファント	H13	11	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
中 央分団	普通消防 ポンプ自動車	イスズ KC-NKR71GN	野ロポンプ	H10	14	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
筑 波分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H22	2	4,000	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
肥 塚分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H21	3	4,000	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
成 田分団	普通消防 ポンプ自動車	イスズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	4	2,990	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
佐谷田分団	普通消防 ポンプ自動車	イスズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	4	2,990	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
久 下分団	普通消防 ポンプ自動車	イスズ NKR-71GN	野ロポンプ	H10	14	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
大 幡分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H23	1	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
大麻生分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	1	4,000	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
玉 井分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	1	4,000	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
中 条分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	1	4,000	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
奈 良分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱シ KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	9	5,240	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
別 府分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱シ KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	9	5,240	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付

分 団 別	車 種	車名・型式	艀装会社	年式	使用 年数	総排気 量(CC)	ポンプ 型式	備 考
三 尻分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H14	10	5,240	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
吉 岡分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ PB-NKR81N	小池 株式会社	H17	7	4,770	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
太 井分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	株ナカムラ 消防化学	H23	1	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
星 宮分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	株ナカムラ 消防化学	H23	1	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
妻 沼分団	普通消防 ポンプ自動車	ニッサン KK-AKR71GN	日本エレ ファント	H13	11	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
弥藤吾分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	4	2,990	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
男 沼分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	9	5,240	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
小 島分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	4	2,990	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
太 田分団	普通消防 ポンプ自動車	ニッサン KK-AKR71GN	日本エレ ファント	H13	11	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
長 井分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ KK-XZU331M	日本エレ ファント	H12	12	4,897	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
秦 分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H14	10	5,240	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
大里中央分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	株モリタ	H22	2	4,000	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
大里北分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FG73ED	日本エレ ファント	H15	9	5,240	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
大里南分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	株モリタ	H22	2	4,000	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
江南中央分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ KC-NKR71GN	野ロポンプ	H10	14	4,570	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
江南北分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ KK-XZU371M	日本エレ ファント	H12	12	4,897	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付
江南南分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ PB-NKR81N	小池 株式会社	H17	7	4,770	A-2級	CD-I型 無線傍受機付・エアコン付

勤 続 年 数 状 況

熊 谷 市 消 防 団

平成 2 4 年 4 月 1 日 現 在

階級別 勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
1 年未満						35	35
1 年以上～ 3 年未満						77	77
3 " ～ 5 "			1	1	6	56	64
5 " ～ 1 0 "			1	4	9	89	103
1 0 " ～ 1 5 "			3	5	22	61	91
1 5 " ～ 2 0 "		1	8	9	19	26	63
2 0 " ～ 2 5 "		1	6	5	12	8	32
2 5 " ～ 3 0 "		1	8	6	7	2	24
3 0 年以上	1	3	7	4	5	2	22
人員計	1	6	34	34	80	356	511
平均勤続年数	45	30	23	19.5	16	7	10.6

年 齢 状 況

熊 谷 市 消 防 団

平成 2 4 年 4 月 1 日 現 在

階級別 年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
2 0 才未満							
2 0 才以上～ 2 5 才以下						7	7
2 6 " ～ 3 0 "						31	31
3 1 " ～ 3 5 "				2	6	58	66
3 6 " ～ 4 0 "			2	2	16	92	112
4 1 " ～ 4 5 "			3	4	20	84	111
4 6 " ～ 5 0 "		1	6	6	14	45	72
5 1 " ～ 5 5 "		1	7	10	14	16	48
5 6 才以上	1	4	16	10	10	23	64
人員計	1	6	34	34	80	356	511
平均年齢	71	60	51.6	50.7	46.2	40.8	43.4

消 防 年 報

発 行 平成24年8月刊行

編 集 熊谷市消防本部
〒360-0811
埼玉県熊谷市原島675番地1

電 話 (048) 501-0119

F A X (048) 521-1207

U R L <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>